

# 美術年報

2001



徳島県美術家協会

徳島県美術家協会美術年報

# 目 次

はじめに .....	徳島県美術家協会長 佐野 比呂志 .....	1	
徳島県美術家協会規約 .....		3	
平成11年度事業報告 .....		4	
役員名簿(平成11・12年度) .....		7	
徳島県美術展開催運営要項 .....		13	
第55回県展記録 .....		17	
第55回県美術展出品・入選等状況 .....		25	
徳島県美術展審査員一覧 .....		26	
第9回放美展記録 .....		30	
各部記録(平成12年度)			
・日本画部 .....	部会長 中川 健 .....	36	
・洋画部 .....	部会長 永山 隆二 .....	39	
・写真部 .....	部会長 楠渕 魏 .....	50	
・彫刻部 .....	部会長 松永 勉 .....	54	
・美術工芸部 .....	部会長 山上 馨 .....	57	
・書道部 .....	部会長 新居 藍州 .....	61	
・デザイン部 .....	部会長 坂本三千一 .....	65	
会員名簿			
・日本画部 .....	73	・美術工芸部 .....	82
・洋画部 .....	74	・書道部 .....	84
・写真部 .....	78	・デザイン部 .....	97
・彫刻部 .....	82		
第55回徳島県美術展(県展)公募規定 .....		98	
第55回県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名 .....		99	

あとがき

## はじめに

第9回放美展は、春の公募展として、平成12年5月3日から7日まで、県郷土文化会館で開催された。応募総数は昨年より86点増えて1,167点となり、放美賞7点、優秀賞51点、入選550点の計608点と、特別出品、審査員、無鑑査など56点とあわせて展示された。観覧者の数もふえ、期待も大きくなっていることは、県美術界にとっても大変よろこばしいことである。10回展を迎えるにあたって、さらに飛躍したいものである。

第55回県美術展は、県郷土文化会館で、第1期が11月7日（火）から19日（日）まで、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門の作品が展示された。第2期は、11月21日（火）から26日（日）まで書道部門の作品が展示された。展示総数は893点となった。本年は特に受賞者の中から最高齢の方にミレニアム賞を贈ったり、書道の前期・後期を廃して通して展覧した。

県展も55回を重ね、内容も年々充実し、各部門の審査員も等しく、技術的にも、作品に対する考え方にも全体的にレベルが高いと評価されました。また、作品から作者の作る喜びが感じられ、総体的に基礎がしっかりしているなどの言葉も多かった。昨年に引き続き本年も高校生等若い年齢層の方の活躍が目立った。このように、出品者の方々が、多くの中央展以上に厳選である県展に、臆することなく、挑戦し続ける情熱と真摯な努力には、深い感謝と敬意を表したい。

各部門の活動や関係団体、更に協会会員の活動も例年におとらず盛んであった。恒例の徳島彫刻集団の野外彫刻展はその一つで特に印象が強かった。

個人の活動をあげてみると、4月には、「荒井天鶴 詞・書展」が、書業70年を記念して、県郷土文化会館で開催され、心眼で書いたといわれる70点の作品は、戦後から県内書道界をリードしてきただけに、多くの愛好者を集め圧巻であった。4月末に開催された「平家のかくれ里祖谷 後藤能大写真展」は、長年にわたり祖谷を撮り続けてきた集大成といえる展覧会で、しみじみとして美しく、しかも熱い印象を受けた。5月には、阿南市文化会館で「関政明油絵展」が開催された。関氏は不自由な身体を克服しての全身全霊の40点の風景画を展示したが、ただただ感動するばかりであった。5月中旬に徳島市シビックセンターで開催された、東光会の「永井郁枝洋画個展」も、作者の優しい人柄がよく見えて、好感がもてた。6月には、「堀切篤子、山口和子、中村晴代3人展」が、阿波銀プラザで開催された。この3人は画歴では30幾年を重ねた同期生で、県展も受賞を重ねたベテランで、中央展にも出品、具象作品としては光る魅力をもっている。9月には、阿波銀プラザで「華と造形コラボレーショ

ン展」が開催された。彫刻の河崎良行、陶芸の矢野款一、華道の森野美和の三氏によるユニークな企画展であった。11月には、「佐々木超油絵展」が阿波銀プラザで開催された。佐々木氏は、20年近く描き続けた50点余の作品を展示したが、物が描ける作家で、県展のベテランとしての存在感を彷彿とする力量は、多くの観覧者を集めた。11月末には、「多智花佐代子織作品展 30年の手仕事から」が阿波銀プラザで開催された。「マフラー100本展」も併催された。多智花氏は、昨年日展会友に推挙され、11回の入選歴をもち、現代工芸染織では県内の第一人者として活躍している。

県外の公募展の受賞関係では、長岡強さんの日展特選、中川伸一さんの行動美術賞、乾春繁さんの美術文化賞など各出品美術団体での活躍があった。

さらに、東光会の三好初子さんが、画集「藍の詩」を刊行し、50年間の作品54点を収録している。主な作品には、思い出が書き添えられ、自伝的な情感豊かな楽しい一冊となっている。南城ミツ子さんの阿波おどり作品が、朝日新聞（日本のまつりシリーズ・阿波おどりNo.1）の2001年のカレンダーとなったことも特筆される。

昨年に続いて今年も追悼のことばを記すことになった。6月14日に田中双鶴さんが87才で死去された。田中さんは、県内書道界、書道教育の第一人者で、四国大学教授、徳島大学名誉教授を歴任し、日展入選を重ねるなど活躍、書風は流麗叙情性に溢れ、晩年になっても、その清新さは衰えなかった。書道結社の鳥跡社、書研社を主宰し県書壇の興隆に多大な貢献をされた。7月10日には洋画の川原康孝さんが71才で死去された。川原さんは、美術家協会理事で、県展運営委員、晩年には県文化協会の市町村文化協会連絡協議会の会長もされた。画風は個性的で情感豊かで、中央の新制作にも入選経験をもち、県洋画界では特にリーダーの一人として、その死去が惜しまれる作家であった。8月19日には県美術家協会、県文化協会の会長を長く務められた河野太郎さんが死去された。河野さんは、教育者として徳島大学教授、徳島文理大学教授を務められ、県美術界の中心的存在として、多くの作家を育てられた。東光会、県展で作品を発表し、端麗な画風をとおされた。このように、本年は県における中核的存在の作家を亡くし、県美術界にとっては、大きな星が消えた思いで、まことにさびしく、この上なく残念なことであった。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

最後に、四国放送（放美展）、徳島新聞社（県美術展）、並びに美術家協会の皆様方に心から感謝するとともに、ますますのご発展をお祈りして、はじめのことばとします。

平成 13 年 3 月

徳島県美術家協会会長

佐 野 比呂志

# 徳島県美術家協会規約

昭和23.	9.	12	規約制定	
	32.	7.	14	新規約制定
	33.	4.	29	規約一部改正
	42.	4.	23	〃
	46.	4.	29	〃
	47.	5.	29	〃
	49.	8.	22	〃
	52.	7.	23	〃
	56.	5.	5	〃
	58.	6.	5	〃
	61.	6.	21	〃
平成4.	6.	27	〃	
	6.	6.	25	〃
	10.	6.	27	〃

## 第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻  
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会  
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

## 第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長（2名）  
理 事（若干名） 監 事（2名）

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員は任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員を選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあつては3名、

31名以上の部にあつては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

## 第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部会長・委員（部会員数の3割以内）  
部監事（2名）

役員は部総会で選出する。役員は任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員を選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

## 第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

## (参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定（図案は鬼塚副会長）

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～5名）によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。

# 平成11年度 事業報告

- (1) 総 会
  - 平成11年6月12日
  - 県郷土文化会館 5F 第7会議室
  - 平成10年度事業報告及び決算報告
  - 監査報告・承認
  - 役員改選
  - 平成11年度事業計画及び予算審議
  - その他
- (2) 理 事 会
  - 平成11年9月1日 放美展、県展等について
  - 平成12年3月20日 平成12年度事業等について
- (3) 第8回放美展
  - 平成11年5月2日(日)～5月6日(木)  
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの  
608点展示
  - 受賞者表彰式  
平成11年5月5日(水・祝) 県郷土文化会館 第7会議室
- (4) 第54回県美術展
  - 第1期 平成11年11月16日(火)～23日(火)  
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの624点  
展示
  - 第2期 平成11年11月25日(木)～12月2日(木)  
書道の364点展示
  - 第54回展受賞者表彰式 平成11年11月15日(月) 阿波観光ホテル
- (5) 県展・放美展会議
  - 第54回県展運営委員会・県展事務局員会議  
(平成11. 5. 14、11. 9. 10、11. 12. 17、12. 3. 15)
  - 第8回放美展運営委員会(平成11. 4. 24、11. 5. 28)
  - 第9回放美展運営委員会(12. 2. 5)
- (6) 第2回文化協会フェア
  - 平成12年1月21日(金)～23日(日) 県郷土文化会館  
日本画8点、洋画10点、写真11点、彫刻6点、  
美術工芸8点、書道22点、デザイン5点 計70点を展示
- (7) 各部会行事
  - 日本画部  
第54回新作日本画展(11. 7. 7～11) 阿波銀プラザ

- 洋 画 部  
第14回洋画部会員展 (11. 5. 27~30) 県郷土文化会館
- 写 真 部  
奈良(東大寺周辺、奈良町一帯)写真撮影会 (11. 6. 13)

(8) 各種後援

- 第12回 長玄書道会展 (11. 4. 8~11)
- 第16回 チャリティー田中双鶴書作展 (11. 4. 29~5. 3)
- 第34回 書道研究 清潮書作展 (11. 5. 7~9)
- 第6回 大耿会書作展 (11. 5. 14~16)
- 第14回 正鋒会書作展 (11. 5. 14~16)
- 第5回 澄光会書作展 (11. 5. 14~16)
- 第44回 成蹊書道会展 (11. 5. 21~23)
- 第13回 四国大学書道コース教員展 (11. 5. 21~23)
- 第22回「炎」作品展 (11. 5. 21~23)
- 第11回 “燎”4人展 (11. 5. 27~31)
- 田淵浜子“心の履歴”展 ~ほとけとびえろ (11. 5. 28~30)
- 第15回 日本篆刻展 四国展 (11. 6. 4~6)
- 第22回 八紅展 (11. 6. 17~20)
- 第20回記念東光会 徳島支部展 (11. 6. 18~20)
- 創立10周年記念 創屋書道会展 (11. 7. 16~18)
- 第58回 世代美術展 (11. 7. 22~25)
- 創屋書道会創立10周年記念 芝原醒鶴阿波踊書作展 (11. 7. 30~8. 2)
- 第8回 一書展 (11. 8. 6~8)
- 第5回 墨友会書展 (11. 8. 20~22)
- 第14回 あすなろグループ展 (11. 8. 27~29)
- 第62回 徳島書芸院現代書展 (11. 9. 2~5)
- 第17回 双愛書道会展 (11. 9. 3~5)
- 第22回 泉心会書作展 (11. 9. 9~12)
- 第29回 直心会書展 (11. 9. 10~12)
- 古希記念 水間利生個展 (11. 9. 11~15)
- 第2回 花だより展 ~わらべ~ (11. 9. 11~13)
- 第23回 13人展 (11. 9. 14~16)
- 第31回 石井美術の会作品展 (11. 9. 16~19)
- 第28回 徳島雪心会書作展 (11. 9. 17~19)
- 第39回 写楽会写真展 (11. 9. 17~19)
- 第55回 青美展 (11. 9. 23~26)
- 第44回 書協人展 (11. 9. 24~26)

- 金岡義和洋画展 (11. 10. 1～3)
- 鋭光会写真展 (11. 10. 8～11)
- 第4回 三美展 (11. 10. 9～17)
- 第21回 徳島美術学院展 (11. 10. 9～12)
- 第5回 徳島障害者芸術祭 エナジー'99 (11. 10. 24～31)
- 第8回 砂光篆会作品展 (11. 10. 29～31)
- 第3回 徳島旺玄会中央出品者展 (11. 10. 30～11. 7)
- 第14回 藍美展 (11. 10. 30～11. 3)
- 第11回 睦月会書展 (11. 11. 6～8)
- 第3回 グループ翔作品展 (11. 12. 7～12)
- 第2回 書朋六人展 (11. 12. 10～12)
- 第29回 四国大学書道コース学外展 (11. 12. 10～12)
- 第5回 六書会書展 (11. 12. 17～19)
- 第5回 退職教職員協議会 悠美展 (12. 1. 25～27)
- 第31回 ナルトぴんぼけクラブ写真展 (12. 2. 11～13)
- 第25期生四国大学書道コース卒業制作展 (12. 2. 25～27)
- 第20回 書研社展 (12. 3. 3～5)
- 第26回 桂鳴書展 (12. 3. 10～12)
- 第13回 長玄書道会展 (12. 3. 11～13)
- グラフィックデザイン50「徳島の観光ポスター展」 (12. 3. 16～20)



# 徳島県美術展開催運営要項

## 第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展「以下(県展)という」と称し広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

## 第2条 (主催団体)

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

## 第3条 (開催運営の組織)

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

### 〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会会長・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補を推薦すること。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認に関すること。
- 5 その他県展開催に必要なこと。

### 〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
- 3 審査員の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関すること。
- 4 収支予算案の作成に関すること。
- 5 開会式、表彰式の準備に関すること。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

#### 第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

#### 第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

#### 第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

#### 第7条 (審査)

審査は公開により行う。

#### 第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

部門	区分	特選	特別賞（55回展の場合）	準特選	奨励賞	入選
日本画		2	徳島県知事賞	3	3以内	規定数
洋画		3	徳島県議会議長賞	5	5 "	"
写真		4	徳島県教育長賞	8	8 "	"
彫刻		1	徳島市長賞	2	2 "	"
美術工芸		2	徳島新聞社長賞	3	3 "	"
書道		8	四国放送社長賞	13	13 "	"
デザイン		2	徳島県美術家協会会長賞	3	3 "	"

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。  
賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。  
2 入賞は1人1賞とする。

#### 第9条（表彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入選……全員に賞状
- 5 ミレニアム賞（55回展のみ）……特選、準特選、奨励賞を受賞した方の中から最高齢者にミレニアム賞として賞金を贈る。

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

#### 第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

#### 第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会員の出品料は1点2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点3,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点2,500円とする。

#### 第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- |   |       |     |      |    |      |
|---|-------|-----|------|----|------|
| 1 | 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 | 高校生   | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |

#### 第13条（附則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- |            |      |
|------------|------|
| 平成4年2月22日  | 一部改正 |
| 平成4年5月16日  | 一部改正 |
| 平成8年5月25日  | 一部改正 |
| 平成11年5月14日 | 一部改正 |
| 平成12年5月30日 | 一部改正 |

# 第55回県展記録

会期 (第1期) 平成12年11月7日(火)～19日(日)

(第2期) 平成12年11月21日(火)～26日(日)

会場 県郷土文化会館

## 日本画

- 〔審査員〕 松尾 敏男  
〔特別出品〕 荻野 行夫  
〔招待〕 長尾 弘子 橋本 正弘 中川 健 岡 英彦 土方るみ子  
西野 和男 土井 洋子  
〔賛助出品〕 森 蔦苑 高田 瑞雪 長谷 壽  
〔特選〕 坂 容子 (県知事賞)  
中西 芳雄  
〔準特選〕 反田 卓 山本 泰子 斎藤 久代  
〔奨励賞〕 林 幸子 木内 和美  
〔入選〕 米沢 稔 三木 義博 矢田友紀子 細木 玲子 笹尾 光永  
市川 義幸 柳田 一子 冨田 達子 川原 光恵 福田佳代子  
西村美也子 大久保芳和 久保脇吉二 江本美千代 清水佳代子  
西口 光代 白河 邦子(2) 南 清子 吉坂美智子 江上 豊  
橋本 隆雄 坂本 久江 原 千紗 平野ひろみ 鶴 悦子  
藤井 吉信 井村ひろみ

## 洋画

- 〔審査員〕 佐々木 豊  
〔特別出品〕 佐野比呂志 永山 隆二 長井 公雄  
〔招待〕 清水 亟悞 楠瀬 等 立岩 巖 露口 敏幸 岡本 征二  
長尾 弘久  
〔賛助出品〕 浅田 二郎 岡 多美子 柏木 雅雄 河田 安市 黒崎 志郎  
後藤田仁一 榊田 務 松川 寛 岡田 守 中辻奈美枝  
〔特選〕 結城 栄子 (県議会議長賞)  
吉田収二郎 沖津由紀子  
〔準特選〕 服部 恵美 宮本 俊助 萱谷 修二 林 伸也 富澤 京子  
〔奨励賞〕 三木 好子 関 政明 西 富美 蛭多久美子 近藤 由里  
〔入選〕 中山 清一 高石 敏幸 中山 律子 鈴木 明雄 川田 績  
伊勢 浩章 越久 高照 浜田 益子 佐々木 茂 岸本 花子

片山 富市	大守 綾子	岡田 典子	端野 育代	尾形 正二
藤井 香世	村瀬 皐月	山下真由美	西條 明彦	志摩 政照
立花 悟	関 美喜子	谷崎 泰江	島川 君子	阿部 昌子
佐野 雄一	笹田 興一	井上 敏子	馬淵 博子	元廣 俊子
藤埜 理	林 康太郎	西川 周三	宮田 京子	加川由紀子
平尾マサミ	田中シゲミ	大西利津子	吉田千枝子	青木 幸子
佐藤 敬子	国見シゲミ	玉田 秀子	佐々木 超	木下 和江
出張 徳夫	島田美奈子	長尾賀代子	西川 敬子	野村 雅子
米田 薫子	喜多 直彦	北 美智子	藤崎 恭子	福良 哲子
岡田 啓子	為實美恵子	大平 数子	曾我部秀子	村本恵美子
藤丸 家栄	町田 美香	関 京子	加賀谷愛美	川原 禮子
浅山 久子	河本多恵子	田野 安子	岩谷 明	濱田登貴子
田中 康子	小笠原秋子	秦 克之	山口 明美	近藤 幸
川本 亮子	三谷ミヤ子	山村ひろ子	唐渡 覚	小川 雅代
藤本 千秋	佐藤 永恵	喜多安喜子	後藤美代子	坂田 千恵
平松 智子	若山 一恵	瀬尾しげこ	林 敏雄	須見 澄子
前野 亮治	姫田 正義	坂本 敏文	後藤ユリ子	島上 二郎
坂東由夏理	竹内 梢	星中 加奈	鈴木 敬子	山瀬 稔
天野 功治	藤本 美幸	佐野 充幸	笠井 善男	小川しのぶ
深見 康人	南城ミツ子			

## 写 真

〔審査員〕	大石 芳野				
〔招待〕	増田 清次	井上 光雄	木田 英之	西條 征二	勝西 雅夫
	藤井 梵	武内 亨	笹田 敏雄	櫛淵 魏	酒井 博司
	三好 和義	上野 照文	森 賢一	橋本 圭祐	安長 剛
	前浦 芳久	荒井 賢治	林 敏彦	多田 晴美	古井 謙吉
	中野 建吉	井藤 光章			
〔無鑑査〕	大和 健司	柳本 正	前坂 祥文		
〔特選〕	多川 静守 (県教育長賞)				
	野藤みきよ	岸上 俊博	増田 寿		
〔準特選〕	森住 博	宮本 幸治	岸田 義市	日出 頭作	大浦 孝悦
	岩崎 英昭	逢坂 登	田中喜久夫		
〔奨励賞〕	河野 英昭	櫛淵 紳哉	西野 倫子	梅久 匠	小原 治
	姫田 慎治	竹内 勝	大西 穂積		

〔入 選〕	林 佳子	三木 理司	三木 晴夫	井上 憲治	川村 泰史
	大野 武	根ヶ山 治	大森 孝克	富加見美枝	藤本 宗子
	正見 晃章	佐野 辰夫	佐野 俊二	佐藤栄美子	戸出 匡
	筒井 敏英	山瀬 良治	富永 充	森 光	坂田 能啓
	堀口 幸男	久我 千鶴	浦上 文夫	潮 満壽子	宮崎謙一郎
	矢野 志江	喜多 昌弘	横田 正敏	下山 久男	津田 憲昭
	妹尾 早苗	小林 保子	谷 賢太郎	今出 弘	粟田ふさえ
	美馬 弘典	秋野 昌子	内田 和子	四宮 清文	佐々木敏幸
	国見 良幸	梅本 貞範	土橋 成行	坂東 律雄	八村 澄枝
	川西 明雄	赤木 昭子	石川 徹雄	竹本 正	島 廣幸
	辻 義徳	山田 勝二	木村美紗子	佐治 孝	後藤田和子
	和田 裕道	岩朝十寸夫	氏師 敏晴	柳川 信子	清水 宗保
	松田みゆき	村岡 洋一	阿部 美昭	浜田佳津子	中村 茂人
	清水 定七	杉本 正利	林 達也	大岸 昭	横山 駿二
	岡村 清	武地 雅	井上 秀人	三木 啓治	安倍 幸子
	大津 勝治	田中 利彦	中本 和男	佐藤 芳之	楠木 久
	宮野 菁伍	佐々木勝正	吉本 亮子	上杉 大一	後藤 正巳
	久保 英樹	一宮 喜八	松本 春子	武林 恭史	浅川 理
	阿部 啓三	浜田茄代子	吉村 敏嗣	林 晴之	谷中美智子
	田中 伸廣	正木 由紀	椎野シゲ子	坂東 裕子	塩本 勝義
	坂東 鶴雄	牧本 正	板東よしお	坂東 進	船越 正文
	神野 太三	溝渕 寛治	大西 啓子	佐藤 義雄	宮崎 行弘
	川上たかと	三谷 敏行	森住 啓	四宮 正恵	田村 泰弘
	森川みさこ	京元 道晴	中川 定典	板東 敏晴	村雲 清郷

## 彫 刻

〔審査員〕	日原 公大				
〔特別出品〕	河崎 良行				
〔招待〕	佐藤 隆	大津 文昭	井下 俊作	鎌田 邦宏	松永 勉
〔贊助出品〕	長岡 強				
〔無鑑査〕	居上 真人				
〔特選〕	蒔田 寿	(徳島市長賞)			
〔準特選〕	玉田 悦子	上月 佳代			
〔奨励賞〕	笠井 正彦	藤 美津子			
〔入選〕	棕本 幸男	野口 恭子	堀北 有里	渋谷 吉昭	近藤 照子

武田亜希子 二宮 治夫 安藝 淳二 原田 綾 加藤 彰一  
池田 有紗 川下 知子 森 裕二郎

## 美術工芸

〔審査員〕 竹内 順一  
〔特別出品〕 山上 馨  
〔招待〕 新居 猛 高橋 勇 多智花佐代子 松下 雄介 松下 慶一  
森 賢一 橘 恵 犬伏 絢  
〔賛助出品〕 村上 正典 中川 存  
〔特選〕 四十宮年代 (徳島新聞社長賞)  
藤井 哲信  
〔準特選〕 越 由子 吉田 敏明 岡崎 益子  
〔奨励賞〕 宮本 孝 富田ちえ子 村上綾子 (ミレニアム賞)  
〔入選〕 川真田 弘 平井 恵子 森 克江 野口 秀夫 宮本 孝(2)  
椎野 寿子 佐治 孝 西山多恵子 竹内知恵美 武田 美子  
桐川いずみ 野村 裕子 玉木 紋 丸居 哲雄 椎野 ゆみ  
後藤 恵子 戸田 智 春田久美子 小栗加代子 阿部 俊江  
森 悦光 平尾 静子 楠 博子 藤井 雅代 落久保重利  
梶原 浩二 吉田 陽子 吉田 晃子 鶴山 早苗 広瀬 郁代  
近藤 照子 富永 裕子 森 美津子(2) 森 明治 島田 功子  
田村 佳代 島田 弘美 橋本 正子 阿部 史 寒川 治雄  
田村 純子 阿部 徳子 隅田 良佑 北岡 啓子 柿田コイト  
国井 秋子 住友 良英 宮本 真弓 阿部 一雄 加藤 和美  
青木 房江 斎藤 康男 藤井 哲信 斎藤 和彦 美馬 潤子  
永山昭一郎 吉田 祐子(2) 桜井 慎治(2) 斎藤 勝彦 前野 亮治  
四宮 千代 林谷 瑞穂 金沢 美穂 美浪 文 奥谷麻里亜  
矢野 雄也

## 書道

〔審査員〕 田中 節山 村上 俄山 黒田 玄夏  
〔特別出品〕 荒井 天鶴 田中 双鶴 新居 藍州 讃岐 泰泉  
〔招待〕 宮井 青雨 長原 皋聖 高原 清泉 西 南龍 成尾 荘秀  
渡辺 草石 原田 霄月 芝原 醒鶴 前川 古舟 清水 桂月



美馬幾美賀	春藤 大耿	中谷 史子	長谷 美峰	勝瀬 景流
川上 虹泉	三間 好鷺	近藤 静苑	上田 溪水	日下 溪翠
岡島 順子	荒井 彭仙	竹田 和代	山口 華城	藤若 美風
武市 鳴雲	中尾 勝子	佐藤 真	富久 鳴泉	永松 春苑
島田 小園	坂本 霄風	浜 佳香	隅田 英二	松本 清香
多田 清芳	玉城 乾香	薄田 玲泉		

〔贊助出品〕

東 南光

〔無鑑査〕

宇山 泰鳳	能仁 華瑤	増田 愛子	亀石 文苑	高岡 晃祥
林 桂翠				

〔特選〕 森 裕美子 (四国放送社長賞)

工藤 孝子	細川 美佳	田上 洋子	駒田 澄子	枝川 照子
平岡 郁子	岩本 雅三			

〔準特選〕

高田 孝子	栗飯原優子	辻 尚子	加藤 智子	柰木真佐子
河野紀代子	向井美由希	三浦富美代	長原 七与	長野 裕子
大西ひとみ	大西 英子	佐藤由紀代		

〔奨励賞〕

沖田 章代	山下 庸子	平野 実	野口 有香	宮崎 早苗
関 藤子	松浦真知子	吉坂真理子	山口 文子	吉田さい子
榊原早知子	橋本 君代	柏尾美恵子		

〔入選〕

### 漢字の部

小松 美佳	鳩成 広美	青木 博美	阿部 千明	藤村 恭子
藤山真由里	矢部 知子	米澤 司子	近藤 美香	植村 恭子
谷 弘美	川上 益世	美馬 潤子	吉田 京子	横田あかね
堀江 孝己	大塚 洋子	後藤 紀代	安友 彰子	佐藤真由美
宇山 和治	河野久美子	永岡 薫恵	須見智香子	佐藤 博子
宇山 峯子	南 香織	森 理江	山西 博子	小林 宏美
平田 直美	戸出 浩子	吉田 幸代	藤野 超	河内 英見
伊勢 浩美	田中 伯政	江口 徹英	阿部 由子	忠津 安子
由宇 典代	田中 育子	小西貴美子	松浦 幸子	森本真由美
中川 博雅	横井三知代	田村 栄子	鎌田 義人	大平美代子
前田 麻子	秦 知美	笠松八重子	宮脇 郷子	生田 茂子
大島 明美	喜多志津子	濱田 悦子	山城 輝子	橋本 京子
橋本 聖子	弘田 敏章	馬居美智恵	鈴木エリ子	岡島 倍子
松永 浩子	高井 初子	柴田 勝	鈴木 正友	寺内 金子
岡島 由佳	豊浦 佳子	藤田喜美代	飯田 公子	川辺 光俊

多田カオル	古川 恵巳	福家 佳余	立石 桂子	向井田雅史
稲井 知子	谷 令子	川村 真澄	有井 清	村部 幸子
西野 幸	福永久美子	橋 美希	高尾 泉	笠原 笑子
桑田 次雄	原 貞子	陶久 房枝	大下 富江	横田 岩夫
中川恵美子	杉本 妙子	田淵 勲	奥田 文子	大野シゲ子
扶川 治子	田 典子	森 仁美	林 みゆき	河野多美子
海原 進	八木 澄江	斎浦 るみ	真鍋 洋子	

## 仮名の部

背川 章子	木田 嘉子	楠瀬 恭子	椎野 国子	川口 珠枝
上田 久恵	宮守 とみ	竹内 英子	椎本 敬子	朝井 邦子
井上 まり	井上 ちさ	阿部 智代	井内 光子	住友 修子
井上 彰夫	大西 啓子	冨永 重行	近藤真千子	加藤 昭子
風川 悦子	高島 智子	佐藤 恵美	荒木喜美子	三原 昌代
武田 詩夜	新納 房子	宮本 敏夫	福良美代子	野上 美紀
市橋ヒデコ	益田 昌子	岡島 公子	水口 久枝	倉本 節子
竹中 敏恵	遠藤 孝子	高橋加奈子	森 弥生	笹川 公子
江本 良江	大島 弘子	船野 純子	大西 順子	甲谷 慶子
赤川久美子	向井 京子	西 直子	大松 淳子	瀬藤 豊子
久住 律子	三好 啓子	高木 瑞枝	吉田 幸代	中筋 良江
関根 史子	津田 上生	足達 玉美	樫原 孝子	河野 静江
三浦由城子	笹田 真里	豊原 淳子	森崎佐和子	須見智香子
東 弥生	住友さつき	梶 真理子	久積希実子	川崎 景子
藤井三樹子	伊丹 志織	湯浅 美香	山橋不二子	加村喜美子
田淵 美和	山本 愛美	藤原 育代	向井 幸子	高橋 剛子
竹田 昭美	西宇 明美	堤 薫子	中西 甫子	瀧倉 理恵
鈴江美音子	草苺 明美	詫間 勝子		

## 近代詩文の部

若林 節子	和田富美子	和田 悦代	矢野 照代	横谷千代美
吉田佐知子	吉田志希子	吉坂希実子	丸岡 良子	丸田 三恵
森岡 禎子	浜口 敏子	春川 登	福永 培子	福山 啓子
仁木しもえ	野田 洋子	野本 寛之	高橋美知江	武市三奈子
武樋 清子	富永美知子	高岡喜美子	高瀬 善郎	阪口 光子
桜田 貴子	佐藤 恵子	佐原 武子	木田 史子	栗山 弘子

川人 和美	川又 敏香	青木寿恵子	遠藤玻都恵	朝三 和子
大井多鶴子	市原亜希子	天野 豊	大石 正	岡川 泰江
小野 幸久	山本 陽子	吉積 恵子	野田 満代	里村 典子
糸田川純子	今山 静恵	渡邊 亜希	森本 陽子	藤井フサエ
藤本 優子	引地 美貴	中島 和子	谷口 昭子	鳥井佐知子
武田 淳子	桜間 好佳	桑村 清	河野 富子	児玉 幸子
幸田 康代	上原三千代	小川佐江子	山川 政江	大西千鶴子
中村 葉子	西勝 恵理	谷井 理恵	坂本 貴子	犬伏 瑞江
伊丹 志織	吉成 嘉代	竹川 秀穂	大野 美子	

## 前 衛 の 部

枅富 年子	中川 博雅	島尾 明良	佐々木和巳	中川 富量
名西 博章	大胡恵里香	小山 育美	原 有里	松久 祐子
中野真由美	阿部 嘉那	吉成 真紀	今田真梨子	田村 定雄
伊丹 明美	大坂 昌代	山西 博子	荒井 和子	梶川 佳奈
佐藤 恵子				

## デザイン

〔審査員〕 杉浦 康平

〔特別出品〕 坂本三千一

〔招待〕 浅野 昌哉 斎藤 繁次 坂野美恵子

〔賛助出品〕 福井 章

〔特選〕 北島 豊嗣 (県美術家協会会長賞)

川西 正洋

〔準特選〕 敷島のり子 富永 雅子 稲実 宏美

〔奨励賞〕 寺本 礼子 長坂 直美 横田 実希

〔入選〕 矢田 明子 宮崎 良美 古藤真一郎 辰巳 悦子 益 崇文

尾形亜矢子 斎藤志津子 笠井さつき 西山 雄 吉本 憲市

田村 早紀 達見かおる 郭野 友子 長尾 哲宏 鳴滝 良弘

本庄美沙子 福永恵実子 斎藤 剛 松岡 真由 美馬さやか

園木 良太 榊本 佳世 生越 陽子 福島 美佳 平尾 奈菜

後藤 郁美 栗田 美紀 春川 法古 芦尾 節子 岡本 麻希

松二 直人 平川 りえ 山住 幸子 田丸 千裕 田村嘉奈子

笠原 雅恵 鹿山 美樹 西岡 由姫 横田 政人 藤井 由紀

## 第55回県美術展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分									
出品数		57	295	1,009	30	131	814	110	2,446
人数		50	202	260	29	97	675	100	1,413
入選	率	61%	41%	14%	60%	60%	40%	44%	31%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	2	5	8	2	3	13	3	36
	入選	28	107	120	13	70	292	40	670
	計	35	120	140	18	78	326	48	765
落選	率	39%	59%	86%	40%	40%	60%	56%	69%
	落選	22	175	869	12	53	488	62	1,681
招待等	特別出品	1	3		1	1	4	1	11
	招待	7	6	22	5	8	38	3	89
	無鑑査			3	1		6		10
	賛助出品	3	10		1	2	1	1	18
	計	11	19	25	8	11	49	5	128
展示数		46	139	165	26	89	375	53	893

◎特別賞は特選の内数である。

# 徳 島 県 美 術

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑
1	委 員	〔野 間 仁 根 家 永 駿 三郎〕	委 員	
2	大 栗 旌 折	野 間 仁 根	上 田 備 山	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕
3	委 員	伊 原 宇三郎	同 上	〔太 田 三 郎 坂 東 内 文 夫〕
4	委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5	上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕
6	西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7	山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8	池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕
9	水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10	管 楯 彦	〔鈴 木 信太郎 野 間 仁 根〕	同 上	同 上
11	奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12	浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13	小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	〔辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫〕
14	秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15	奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16	同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17	松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18	矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周 三郎
19	中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20	曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21	沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22	堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23	松 岡 政 信	山 下 大五郎	岩 宮 武 二	井 上 武 吉
24	山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄

# 展 審 査 員 一 覧

美 術 工 芸	書 道	デ ザ イ ン
鬼 塚 信 之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭山南木・織田子青	
同 上	手 島 右 卿	
〔鬼 塚 信 之 新 田 藤 太 郎〕	同 上	
鬼 塚 信 之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織田子青（漢）・出口草露（仮）	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠	
大 西 忠 夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫塑)
25	奥村厚一	齐藤真成	棚橋紫水	原武典
26	梶喜一	島村三七雄	同上	掛井五郎
27	上原卓	高田誠	伊藤知己	松村外次郎
28	黒光茂樹	中間冊夫	岩宮武二	小畠広志
29	松岡政信	島田章三	同上	保田春彦
30	黒光茂樹	田中岑	同上	篠崎明雄
31	河合健二	田中忠雄	同上	江口週
32	長谷川青澄	山口長男	{岩宮武二 伊藤藤知己	一色邦彦
33	松岡政信	吉井忠	{岩宮武二 秋山庄太郎	柳原義達
34	山岸純	小西保文	岩宮武二	清水九兵衛
35	樋笠数慶	荻太郎	同上	桜井祐一
36	坂口麻沙子	吉井淳二	同上	土谷武
37	下田義寛	野見山暁	同上	山本正道
38	同上	須田寿一	高田誠三	清水九兵衛
39	同上	斉藤真一	同上	清城田孝一郎
40	下保昭	津高和一	{岩宮武二 高田誠三	清水良治
41	橋田二郎	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井敏夫
42	松本哲男	国領經郎	岩宮武二	木津一夫
43	山岸純	利根山光人	三木淳三	橋本省
44	平川敏夫	赤穴宏	高三木誠	山崎猛
45	福井爽人	桜井寛	三木淳三	土谷武
46	岩沢重夫	大森朔衛	三木淳三	峯田敏郎
47	穂田一稗	大谷本重義	立木義浩	小島弘
48	田淵俊夫	大沼映夫	杵島隆	建畠覚造
49	中路融人	馬越陽子	杵島隆	綿引道郎
50	下田義寛	三栖右嗣	奈良原一高	古島実子
51	工藤早人	中根寛	斉藤康一	恩田静子
52	那波多目功一	松樹路人	細江英公	石井厚生
53	那須勝哉	藤田吉香	高田誠三	香浦有爾
54	内田あぐり	奥谷博	高田誠三	小林陸一郎
55	松尾敏男	佐々木豊	大石芳野	小日原公大

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
藤本能道	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠 富永眉峰	
三井安蘇夫	同上	金野弘
六角穎雄	同上	大智浩
鈴木貫爾	同上	早川良雄
田村耕一	同上	原弘
山脇洋二	同上	田中一光
浅野陽	同上	奥野英雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田繁雄
山脇洋二	同上	永井一正
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰	山城隆一
同上	同上	粟津潔
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰	亀倉雄策
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊蔵憲治
浅野陽	桜井琴風・黒野清宇	サイトウ・マコト
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	佐藤晃一
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	河北秀也
松永勲	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	松永真
山下恒雄	近藤撰南・東山一郎・中野北溟	浅葉克己
島田文雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	藤井三雄
大西長利	安原皐雲・池田桂鳳・金子卓義	五十嵐威暢
山下恒雄	鈴木桐華・西本支星・金子聰松	青葉益輝
島田文雄	尾崎邑鷗・井茂圭洞・大井綿亭	松永真
中井貞次	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	安西水丸
栗木達介	甫田鷄川・小山やす子・石飛博光	U. G. サトー
宮田亮平	杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂	早川良雄
松永勲	津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石	戸田正寿
竹内順一	田中節山・村上俄山・黒田玄夏	杉浦康平



# 第9回 放美展記録

会 期 平成12年 5月3日(水)～7日(日)  
会 場 県郷土文化会館

## 日 本 画

〔審査員〕	中川 健	橋本 正弘	森 蔦苑		
〔運営委員〕	長谷 壽				
〔放美賞〕	柳田 一子				
〔優秀賞〕	幸田 道子	黒田 實	平野ひろみ		
〔入 選〕	川原 光恵	元木 隆次	四宮 恵美	有持 広子	高部 恒香
	江上 豊	田尾 富子	木内 和美	井内カヨ子	米沢 稔
	市川 義幸	橋本 隆雄	白河 邦子	南 清子	西口 光代
	坂本 久江	原 千紗	朝田 敏子	富田 達子	西村美也子
	吉坂美智子	清水佳代子(2)	吉田 満子	岸本 好美	高橋タケ子
	柳川ハマエ	藤井 里依	笹尾 光永	一宮 美穂	矢田裕紀子

## 洋 画

〔審査員〕	黒崎 志郎	岡 多美子	榊田 務		
〔運営委員〕	永山 隆二				
〔美協会長〕	佐野比呂志				
〔美協理事〕	川原 康孝				
〔無鑑査〕	南城ミツ子	河本多恵子	島川 君子	三谷ミヤ子	関 京子
	佐々木 超				
〔放美賞〕	大西利津子				
〔優秀賞〕	野上 恵子	南 清子	浜田 益子	青木 幸子	木下 和江
	正木 和夫	岸本 花子	大西 文代		
〔入 選〕	平松 智子	坂田 千恵	山尾 敬子	市川 愛子	須見 澄子
	川田 績	村瀬 皐月	筒井 正治	岡 真知子	伊勢 浩章
	岩谷 明	谷口 節	福良 哲子	武田 洋子	中川 清隆
	佐藤 友美	丸関 朋子	村上 富子	長田 武夫	篠原 稔
	杉村 良典	曾我部秀子	阿部 昌子	林 康太郎	土橋 正子
	元廣 俊子	為實 啓剛	小笠原秋子	北 美智子	為實美恵子
	米沢 博	小畑 結美	山口 明美	山村ひろ子	川原 禮子
	二條 均	山田 越子	高田麻美子	中山 清一	湯岑エミ子
	馬淵 尚子	前野 亮治	宮田喜代子	越久 高照	桶川 佳広
	田中シゲミ	富永 景子	埴淵 祐子	答島 久子	中本真由美
	答島 和年	騎馬 政美	結城 栄子	江戸谷信夫	近藤 幸
	田中 康子	さとうますこ	川本 亮子	佐野 充幸	蛭多久美子
	藤本 美幸	竹内 梢	若山 一恵	梅津美砂代	藤丸 家栄

米田 薫子 島田 英子 白草 由子 瀬尾しげこ 坂東 糸枝

写 真

[審査員]	西條 征二	井上 光雄	酒井 博司			
[運営委員]	櫛淵 魏	武内 亨	荒井 賢治			
[美協理事]	安長 剛					
[無鑑査]	柳本 正					
[放美賞]	赤木 昭子					
[優秀賞]	田中喜久夫	川真田慶治	久保 英樹	森 光	志摩 育美	
	森 英弘	岡村 清	石川 徹雄	板東 律雄	竹本 正	
	大和 健司	森住 博	堀口 幸男	久我 千鶴	四宮 正恵	
	埴淵 照二	岡本 清憲	秋野 昌子	吉村 敏嗣	柳川 信子	
	土橋 成行	梅久 匠				
[入 選]	清水 定七	田中喜久夫(2)	谷 賢太郎(2)	根ヶ山美江(2)	根ヶ山 治	
	盛 重知(2)	氏師 敏春	赤木 昭子	佐治 孝	前坂 祥文	
	阿部 一雄	佐藤 考利	福永 修(2)	毛利 次郎(2)	三木 恭子(2)	
	川真田慶治(2)	喜多 昌弘	後藤 正巳	渡辺 功機	内田 忠秋(2)	
	三木 啓司	久保 英樹(2)	江口 民二	丸岡 節子	森 光	
	山中 祐子	中島 敏子	池添 秀信(2)	岡田 直子	川村 泰史	
	杉本 展久	平山 成美	近藤 恵子(2)	柳本 清一(2)	小山 秀夫	
	漆原はつ子(2)	正見 晃章(2)	橋本 紘一	小林 保子(2)	妹尾 早苗	
	佐藤 義雄(2)	西野みち子(2)	中河美智子	姫田 仁美	宮本 幸治	
	溝淵 寛治(3)	松本 春子	姫田 慎治	西原やすこ(2)	大浦 孝悦(3)	
	吉田 仁志(2)	大津 勝治(2)	野藤 敏美(3)	野藤みきよ(3)	志摩 育美(2)	
	田処 正明(2)	岡村 清(2)	谷中美智子(3)	正木 由紀	一宮 由子	
	粟田ふさえ(2)	向 儀一郎(2)	佐々木敏幸	梅本 貞範(2)	田中 愛子	
	石川 徹雄(2)	榎本 尚美	生田 明子	高橋みち子	矢部 弘子	
	播 博文	島 廣幸	板東 律雄	河田 清(2)	八村 澄枝(2)	
	竹本 正	大西 啓子(3)	神野 太三(3)	大和 健司(2)	守原 修	
	今出 弘	林 晴之(2)	森 光	下川 正伸	森住 博	
	浜田茄代子(3)	堀口 幸男	久我 千鶴(2)	塩本 勝義	清水 宗保	
	内田 忠宏(3)	前田 輝子	牧本 正	松井 一美	宮崎謙一郎	
	浅川 理	鮎川日出一(2)	森 博保	原田 宏(2)	林 達也(2)	
	後藤 和美(2)	福原 敏雄(2)	梶村 鉄次(2)	中本 和男	松尾 良子(2)	
	富永 幸子(2)	富永 充	戸出 匡	佐藤栄美子(2)	竹田 久子(2)	
	中山 良男(3)	松本 志保	米沢美千代	岡本 清憲	内田 和子(3)	
	秋野 昌子	吉村 敏嗣(2)	三宅三代栄(2)	正満 恭子	富加見美枝	
	宮本 好美(2)	踏脱 公男	森川みさこ	川口 政子	村上 利明	
	保居 暁	大森 孝克	上杉 大一(3)	土橋 成行	板東 敏晴(2)	

村岡 洋一	岸田 義市(2)	大栗 隆夫	故島 永幸(2)	原井 裕夫(2)
中村 茂人	森内 昭男(2)	横田 正敏	板東よしお	中島 敏雄
榎瀬 安夫	前田 富子	保居 強	岸田 知久	櫛谷 文次(2)
春川 法古	田中 伸廣(2)	伊達 照子(2)		

## 彫 刻

[審査員]	鎌田 邦宏	濱口 恵	松永 勉		
[運営委員]	井下 俊作				
[美協副会長]	河崎 良行				
[無鑑査]	笠井 正彦				
[放美賞]	二宮 治夫				
[優秀賞]	椋本 幸男				
[入選]	後藤田英男	武本 洋介	加藤 彰一	東 安一	東 光司
	武田亜希子	秦 麻衣子	櫛田 智子	野口 恭子	早川 奈見
	吉本 朋彦	森 裕二郎	川下 知子	橋本 敬子	加藤美津子

## 美術工芸

[審査員]	松下 雄介	橘 恵			
[運営委員]	山下 馨	高橋 勇	松下 慶一		
[無鑑査]	森 明治	吉田 敏明			
[放美賞]	桜井 慎治				
[優秀賞]	四十宮年代	寒川 治雄	斎藤 和彦	湯浅カツエ	田村 恵子
	田村 祐子				
[入選]	加藤 和美	鶴山 早苗	隅田 良佑(2)	濱口 由美	漆原 久子(2)
	小川佳代子	徳元 昭乃	楠 正陶	清水美代子	金沢 美穂
	加藤 伴江	寒川 治雄	吉田 晃子	喜多 義明	森 克江
	武田 由枝	山下 久美	北村 美和	松永 卓司	吉田 弥生
	鳥井 明子	竹内智恵美	沢田志津子	平岡英津子	山本美恵子
	住友 和子	木内 文子	中山 克子	松山 豊	高島 勝博
	矢野順三郎(2)	鈴木 美登	藤田 恭子	藤井 雅代(2)	佐治 孝
	美馬 潤子	林谷 瑞穂(2)	奥谷麻里亜	美浪 文	矢野 雄也
	吉田 祐子	折原 香子	佐藤タマエ	長谷川富美子	釜内 正子
	田村 佳代	田村 純子	阿部 史	森 美津子	吉田 陽子
	広瀬 郁代	一宮多枝子	有内 麻里	大島 宏昭	矢藤 明美
	野田 理人	樫原 道雄	樫原フサコ	八木 大乘	宮本 香
	今出 周子	富永 裕子	前野 亮治	宮本 秀夫	岸田八代子
	樫原 浩二(2)	川真田泰裕(2)	一條 宏明	桜井 慎治	大野麻里子

## 書 道

[審査員]	宮井 青雨	薄田 玲泉	長原 皋聖			
[運営委員]	新居 藍州	藤若 美風				
[美協副会長]	讃岐 泰泉					
[美協理事]	上田 溪水	勝瀬 景流	荒井 彭仙			
[無鑑査]	中尾 勝子	近藤 静苑	川村 春琴			
[放美賞]	大井 阜霄					
[優秀賞]	高田由里子	井上 虹雨	弘田 敏章	片山 保	森 裕美子	
	藤本満里子	朝三 皐如				
[入 選]	洲崎 忠雄	吉田 和子	多富 豊	田井 晴風	妹尾 敏子	
	田中 久子	吉田 幸子	中村 絢子	藤永 真里	森本知世子	
	高橋加奈子	大西千鶴子	渡辺 亜希	小野 幸久	笠原 小松	
	椎本 敬子	朝井 邦子	福井 明子	清崎 君子	蔭山 可奈	
	西宗 千春	若林 麗華	竹丸 陽子	蔭山 愛	桐生 弘美	
	加藤かつ子	高木 房一	荒井 和子	田仁 恵子	今津 裕子	
	栗城 茂子	田中 孝子	川田八重子	市原 典子	照島 佳洋	
	小出 圭子	清重 国子	安東 善之	昇 利弘	倭田 恵	
	西村 美保	西村 泰紀	板東 曜子	野口 有香	東條 里映	
	谷本智栄子	岩崎紀美子	坪内サチ子	荒川 佳子	大塚 唯士	
	中村 春岳	谷 令子	丸岡 春暁	田渕 勲	託間 敬久	
	石井 瞳	背川 景玲	猪井 華泉	横田 素林	浅川 あや	
	和泉 亜希	一木 円	村 岬	妹尾 和佳	田中 愛子	
	部 品子	清水 康江	赤川 結香	佐藤 友里	武市めぐみ	
	武市 典子	山本 美佳	権田 明菜	長尾 未来	米延 亨	
	福田 道子	高岡 皋女	里村 典子	木内 典代	天野 瑞石	
	向井美由希	向井 絵美	安福 真未	田渕小百合(2)	山田かおり	
	生田 典子	三宅 円	高開 千景	折野 貴規	米田 怜世	
	藤本 富子	石井 真美	田村 歌菜	新居 鉄郎		

## デザイン

[審査員]	福井 章	斎藤 繁次	敷島のり子		
[運営委員]	坂本三千一	田中 一郎			
[美協理事]	浅野 昌哉				
[無鑑査]	北島 豊嗣				
[放美賞]	川西 正洋				
[優秀賞]	長尾 哲宏	佐々木美佳	大東 浩司	武蔵 光子	
[入 選]	廣瀬 栄子	芦尾 節子	須藤 政代	福永恵美子	春川 法古
	稲実 宏美	佐々木 愛	前田 恵	岡本 麻希	川口 望

中村 恵	松二 直人	山住 幸子	田村嘉奈子	笠井 香織
藤高知加子	川井 美穂	安田 愛	山口 歩	西山 雄
頭師 理恵	河野 利枝	笠井さつき	尾形亜矢子	園木 良太
服部 茜	増田 有香	小谷 万智	吉田 碧子	宮崎 恵
生川 佳代	岡山 智子	平井 美穂	吉岡愛里子	沢田 諭美

---

# 各部記録

---

# 日 本 画 部

部 会 長 中 川 健

## 年間展望

### ◎第9回放美展（5月3日～7日 県郷土文化会館）

出品点数56点と8回展の69点よりも減っているが、質的には遜色なく、毎年向上している。入賞・入選は合わせて36点であったが、全体的な傾向としては、風景を題材にした作品が多く、現代風なものが目についた。

放美賞	「早春」	柳田 一子
優秀賞	「菖蒲」	幸田 道子
”	「昔日」	黒田 實
”	「ロープウェイ」	平野ひろみ

### ◎第55回新作日本画展（7月12日～16日 阿波銀プラザ）

県内の日本画人口の裾野を広げ、新人を発掘するという目的で実施してきた展覧会も55回となり、数多くの作家を育ててきた功績は大きい。ただ、ここ数年は出品点数が少しずつであるが減り続けて、今回展は44点という過去最小の出品点数となった。前々からの懸案であった、展覧会のあり方を問い直すという時がきたようだった。このたび、55年という長い歴史のこの展覧会を新しく発展させるという意味をこめて一時休止し、次のステップにそなえることにした。数多くの出品者、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。そんな節目の今回展でしたが、有終の美を飾るにふさわしく、魅力的な作品が多数出品され会場を盛り上げてくれたことは、本当に喜ばしいことであった。

新作大賞	「早春譜」	川原 光恵
”	「春爛」	高橋タケ子
新作賞	瀬尾 和代・増田 由美・宮越 千佳	
佳作	久保脇吉二・田村 豊佑・三ツ本繁美	

### ◎第55回県美術展（11月7日～19日 県郷土文化会館）

54回展より若干少ない57点の応募作品であったが、大作が増加して質的にも向上しているので、審査は慎重にすすめられた。審査員には日本芸術院会員の松尾敏男先生をお願いした。審査評として「入賞作をみて、地方にもこれだけ絵の理解を深めている人がいるかと驚いた」そして「どの作品からも絵を描く楽しさが伝わってきて、大変うれし

く思った。今回は選に漏れた人もおるが、楽しみながら描くことが一番なので、その姿勢をもち続けてほしい。」と述べられ好評であった。

特選(県知事賞)	「無・有・無」	坂 容子
特 選	「群(むれ)」	中西 芳雄
準 特 選	「渦動」	反田 卓
〃	「夜明けの詩」	山本 泰子
〃	「野に咲く」	斎藤 久代
奨 励 賞	「大釜の崖」	木内 和美
〃	「早春」	林 幸子

## 会員消息

今年も例年どおり、会員の方々がいろいろな展覧会で活躍され好評を博した。月別に活動状況を紹介することとする。

1月	新春展	鳴門四電ギャラリー	高田瑞雪
〃	第2回県文化協会フェア	県郷土文化会館	高田瑞雪
3月	第35回日本墨彩画院展	香川文化会館	森 蔦苑・長谷 壽・久保脇祥雲 高田瑞雪
〃	日本南画院展	東京・京都・大阪	森 蔦苑・長谷 壽・久保脇祥雲 濱口芳春・斎藤谿春
〃	田野町全国水墨画展	高知	森 蔦苑・市川義幸(大賞)
〃	第87回徳島県女流美術家協会小品展	阿波銀プラザ	長尾弘子・他
〃	第35回日春展	東京銀座 松屋	岩瀬 洋子・岡 英彦・佐藤晴子 橋本正弘・土方るみ子
5月	鳴門市文化展	鳴門市民会館	高田瑞雪
〃	阿南市展	阿南市文化会館	長谷 壽・森 蔦苑・久保脇祥雲
〃	第87回朱泥会展	徳島市シビックセンター	長尾弘子・他
6月	第6回海部郡合同水墨画展		白河邦子・西口光代・南 清子
〃	第29回仙台・徳島文化交流女流展	宮城県美術館県民ギャラリー	長尾弘子・他
〃	平成12年度徳島県表彰	徳島県庁	長尾弘子
7月	中央展出品絵画展	県郷土文化会館	森 蔦苑・長谷 壽・濱口芳春 斎藤谿春・久保脇祥雲



- 7月 徳島県女流美術協会50周年記念スケッチ旅行  
ベルギー 長尾弘子・他
- 〃 京都日本画家協会新鋭選抜展  
京都府京都文化博物館 土方るみ子
- 8・9月 現代美術国際交流 ニューヨーク 徳島100人展  
恰美術館 日本画部委員10名
- 9月 絵で見る徳島展 県郷土文化会館 永井貞溪・長谷 壽・森 蔦苑  
濱口芳春・久保脇祥雲・南 清子
- 〃 日本墨彩画院展阿南移動展 阿南市文化会館 森 蔦苑・長谷 壽・久保脇祥雲  
高田瑞雪
- 10月 第53回鳴門市展 鳴門市民会館 高田瑞雪
- 〃 有秋会展 大阪市美術館 森 蔦苑・長谷 壽・久保脇祥雲  
濱口芳春
- 〃 徳島県女流美術家協会50周年記念第88回県女流美術展  
県郷土文化会館 長谷弘子・他
- 11月 県文化研修会展 阿南市文化会館 森 蔦苑・長谷 壽・久保脇祥雲
- 〃 由岐町文化祭展 由岐ポッポマリン 長谷 壽
- 〃 福井町文化祭展 福井総合センター 長谷 壽
- 12月 鳴門四電ギャラリー年末チャリティー作品展 高田端雪
- 〃 徳島新聞社年末チャリティー作品展 高田端雪・長尾弘子

# 洋 画 部

部会長 永 山 隆 二

## 年間展望

### ◎第55回県美術展（第1期：11月7日～19日 県郷土文化会館）

応募点数295点で、その中から入賞・入選点数が120点となり、入選率が41%という厳しい審査結果となった。審査員には、明星大学造形芸術学科教授の佐々木豊先生をお願いした。審査評を要約して紹介することとする。

特選（県議会議長賞）の結城栄子「ウチノ海」は自分なりの新鮮なメッセージがあり、それを伝える技術がある。特選の吉田収二郎「ドック」は色が赤とブルーの二色で単純で船を画面いっぱい描いているので、その二つが強烈に伝わって印象の強い絵になっている。特選の沖津由紀子「ようこそ」は構図的にみても自由奔放でエネルギーにあふれた作品である。

その他の受賞者は次のとおりであった。

準特選	「徳島夜景」	服部 恵美
”	「海外一人旅」	宮本 俊助
”	「都市動脈」	萱谷 修二
”	「初秋」	林 伸也
”	「etherエーテル」	富澤 京子
奨励賞	「早春の閨門」	三木 好子
”	「時雨るる」	関 政明
”	「陽光の雪国」	西 富美
”	「有象無象」	蛭多久美子
”	「追求」	近藤 由里

### ◎第9回放美展（5月3日～7日 県郷土文化会館）

応募点数177点で、その中入賞・入選点数79点で入選率は45%となった。審査員として黒崎志郎、岡多美子、榊田務の三氏があたり、次のように受賞者が決まった。

放美賞	「少女」	大西利津子
優秀賞	「村のあめごとり」	野上 恵子
”	「漁具納屋」	南 清子
”	「かごの鳥」	浜田 益子
”	「市場風景（1）」	青木 幸子
”	「鳩とピエロ1」	木下 和江

優秀賞	「熱中」	正木 和夫
〃	「小さな橋の風景」	岸本 花子
〃	「朝刊」	大西 文代

◎第15回洋画部会員展（6月1日～4日 県郷土文化会館）

今回展は特別陳列をやめて、会員ができるだけ多く出品するように努力したところ100点という盛大な展覧会となった。今後もますます発展するよう会員が協力していきたいと思ひます。

◎平成12年度洋画部絵画講習会（9月10日 鴨島文化研修センター）

洋画部が主催し、鴨島町教育委員会と鴨島町文化協会に共催をいただき、県洋画界の発展のために講習会を開催した。県美術家協会洋画部委員が指導にあたり、全県下から69人の参加者を得て、着衣による人物画（油彩・水彩・スケッチ）をモデルに絵画の実技をおこなった。

会員消息 （◎新会員 △住所変更 県展・放美展関係は除く）

- 青木 幸子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）。
- 浅山 久子 八紅展（阿波銀プラザ）。
- 阿部 昌子 土曜展・洋画部会員展・青美展（郷文）、成美会絵画展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 伊勢 浩章 洋画部会員展・平和美術展・第2回県文化協会フェア（郷文）、15人展・むつみグループ水彩展（ヨンデンプラザ徳島）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）。
- 乾 繁春 第60回美術文化展（東京都立美術館）、美術文化賞受賞・会員推挙・安田火災美術財団奨励賞受賞・美術文化協会新人選抜展（東京銀座アートギャラリー）、第60回美術文化関西展（大阪市立天王寺美術館）、美術文化四国支部展（新居浜市立郷土美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）、NHK文化センター高松講師作品展（高松三越）。
- 岩谷 明 第66回旺玄展（東京都立美術館）、旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）、平和美術展・徳島市芸術祭美術展・青美展（郷文）、つくし展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 宇高 桂子 第68回独立美術展・第54回女流画家協会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展・第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展（郷文）、女子美術大学創立100周年記念展～TOKUSHIMA～（阿波銀

プラザ)。

- 大西利津子 洋画部会員展(郷文)、八紅展(阿波銀プラザ)。
- 大野 文雄 青彩美術展(徳島市シビックセンター)。
- 岡 多美子 新象展(東京都立美術館)、アメリカサギノー市姉妹都市記念優秀作家展(サギノー美術館)、徳島市芸術祭美術展・洋画部会員展・第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展(郷文)。
- 岡田 君代 洋画部会員展・平和美術展・青美展(郷文)。
- 岡田 守 徳島市芸術祭美術展：特別出品・洋画部会員展(郷文)、全美展・世代美術展(徳島市シビックセンター)、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展(恰美術館)。
- 尾形 正二 第60回美術文化展(東京都立美術館)、第60回美術文化関西展(大阪市立天王寺美術館)、美術文化四国支部展(新居浜市立郷土美術館)、洋画部会員展・中央展出品者絵画展(郷文)、15人展(ヨンデンプラザ徳島)。
- 賀木 道子 第66回旺玄展(東京都立美術館)、旺玄会展大阪巡回展・第47回関西旺玄会展(大阪市立美術館)、世代美術展・第27回旺玄会徳島支部展(徳島市シビックセンター)、洋画部会員展(郷文)、旺玄会有志九州絵画展(大分市アートプラザ)。
- 河本多恵子 徳島市芸術祭美術展：徳島市長賞・洋画部会員展(郷文)、八紅展(阿波銀プラザ)、国府文化祭(国府町コミュニティセンター)。
- 岸本 花子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展(郷文)、八紅展(阿波銀プラザ)、八万文化祭(八万コミュニティセンター)。
- 木谷 弘 第60回美術文化展(東京都立美術館)、洋画部会員展(郷文)、世代美術展(徳島市シビックセンター)、15人展(ヨンデンプラザ徳島)。
- 黒崎 志郎 第53回示現会展・第88回日本水彩展・第32回日展(東京都立美術館)、洋画部会員展(郷文)、示現会徳島支部展(阿波銀プラザ)。
- 後藤ユリ子 現展：会員推挙(東京都立美術館)、洋画部会員展・中央展出品者絵画展・第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展(郷文)、第29回徳島・仙台文化交流女流美術展(宮城県立美術館)。
- 後藤田仁一 第60回美術文化展(東京都立美術館)、第60回美術文化関西展(大阪市立天王寺美術館)、美術文化四国支部展(新居浜市立郷土美術館)、美術文化の14人展(東京銀座アートギャラリー)、洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：招待出品(郷文)、世代美術展(徳島市シビックセンター)、悠美展(ヨンデンプラザ徳島)。
- 斎藤 靖子 日本板画院展：会員出品(東京都立美術館)、藝術院日本選抜中国南京美

術展（中国南京）、メモリアルアートジャパン2000（オランダ、アムステルダム）、第87回徳島県女流美術家協会展（阿波銀プラザ）、第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展・徳島市芸術祭美術展：特別出品（郷文）、第29回徳島・仙台文化交流女流美術展（宮城県立美術館）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）。

- △嵯峨 潤三 洋画部会員展（郷文）、嵯峨潤三油彩画展（グレイスギャラリー）。
- 佐々木 超 徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品・洋画部会員展（郷文）、八紅展・佐々木超油彩展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 佐野比呂志 第37回関西独立展：無鑑査出品（大阪市立美術館）、全展：委員出品（東京都立美術館）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、徳島市芸術祭美術展：審査員出品・第2回県文化協会フェア：会長出品（郷文）、徳島県教職員美術展：招待出品（教育会館）。
- 四宮 久子 神戸二紀同人展（神戸）、夢のきざし展（ヨンデンプラザ徳島）、徳島二紀展（阿波銀プラザ）、アトリエバク展・二紀展（東京）
- 島田美奈子 徳島市芸術祭美術展・洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、徳島新聞カルチャーセンター作品展（徳島新聞社）、川内文化祭（川内公民館）。
- 清水 亟悞 洋画部会員展（郷文）、50周年記念モダンアート協会展（東京都立美術館）、第27回清水亟悞洋画小品展（グレイスギャラリー）、第28回清水亟悞（サムホール）、油絵個展・第29回清水亟悞油絵個展（徳島そごう）、ご報美展（東京銀座ミハラヤ画廊）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（拾美術館）、ベルサイユ芸術祭出品・国際親善リヨン2000年祭出品（パリ）、グローバルアースフェスティバル展出品（イタリア）。
- 下内 裕次 50周年記念モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、関西モダンアート小品展（大阪市美術館）、第33回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、モダンアート明日への展望（埼玉県立近代美術館）。
- 鈴江美代子 洋画部会員展・ふるさとを描き遣す会展（郷文）。
- 曾我部秀子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 田岡 莊二 徳島市中央公民館まつり展（徳島市中央公民館）。
- 田中 康子 八紅展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府町コミュニティセンター）。
- 谷 節子 第66回旺玄展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展・ふるさとを描き遣す会展・画展ふるさと展（郷文）、旺美展中

央出品者展（阿波銀プラザ）。

- 玉田 秀子 徳島市芸術祭美術展・無鑑査出品・洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）。
- 為実 啓剛 土曜展・青美展・健康福祉祭美術展（郷文）。
- 辻野 正廣 洋画部会員展（郷文）、青彩会展（徳島市シビックセンター）。
- 露口 敏幸 洋画部会員展（郷文）、徳島県教職員美術展：招待（教育会館）。
- 中村 晴代 全美展（徳島市シビックセンター）、堀切薫子・山口和子・中村晴代三人展（阿波銀プラザ）。
- 永井 郁枝 東光会展：会友出品（東京都立美術館）、徳島県教職員美術展：委嘱出品（教育会館）、東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展・洋画部会員展（郷文）、個展（徳島市シビックセンター）。
- 長野 満子 洋画部会員展・中央展出品者絵画展・ふるさとを描き遺す会展・画展ふるさと展（郷文）、21世紀に遺したい徳島の風景企画展（徳島城博物館）。
- 永山 隆二 徳島市芸術祭美術展：審査員出品・洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 南城ミツ子 東光会展：会員出品・第32回日展：入選（東京都立美術館）、徳島県教職員美術展：委嘱出品（教育会館）、徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品・洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）。
- 西川 周三 洋画部会員展（郷文）。
- 西川 敬子 第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展・平和美術展・洋画部会員展（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）、第29回徳島・仙台文化交流女流美術展（宮城県立美術館）。
- 橋本 政典 日本美術家連盟会員、現代美術家協会会員。
- 浜田 益子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 平尾マサミ 洋画部会員展（郷文）、二人展（文化の森レストラン竹）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 平木 美鶴 第5回さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ展（北海道立近代美術館）、第14回現代日本絵画展（宇部市文化会館）、プリントコンポジション2000（多摩美術大学美術館）、第45回CWAJ現代版画展（東京アメリカンクラブ）、京都版画2000展（京都市美術館）、O L I V E展（南青山画廊・ジェイワンアートクラブ・ぎゃるり葦）、新しい木版画入門出版記念展（ギャラリースペース21・ギャラリータマミュージアム）、日本版画協会展・二紀展（東京都美術館）、徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、春の

徳島二紀展（阿波銀プラザ）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）。

- 福富 正二 洋画部会員展（郷文）。
- 藤川 明子 徳島市芸術祭美術展：委嘱出品（郷文）、全美展（徳島市シビックセンター）。
- ◎藤崎 恭子 新入会員
- 榊田 務 洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）、徳島県教職員美術展：招待出品（教育会館）、榊田務作品展（穴喰町公民館）。
- △松浦 節子 第60回旺玄展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展・ふるさとを描き遺す会展・画展ふるさと展（郷文）、旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）。
- 三谷ミヤ子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、レインボー富田文化祭（東富田コミュニティセンター）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、個展（伊予銀行徳島支店）。
- 峯 幸子 洋画部会員展・第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）、む・アート展（県立近代美術館ギャラリー）、坂出グランプリ2000（坂出市美術館）、風景スケッチ展（文化座ギャラリー）。
- 元廣 俊子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（徳島市シビックセンター）。
- 山口 和子 徳島市芸術祭美術展：特別出品（郷文）、青彩美術展・全美展（徳島市シビックセンター）、堀切薫子・山口和子・中村晴代三人展（阿波銀プラザ）。
- 山田 越子 八紅展（阿波銀プラザ）、徳女40回卒業2000年記念創作展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 吉田収二郎 第66回旺玄展：会友出品（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展・ふるさとを描き遺す会展・画展ふるさと展（郷文）、旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）。
- 大西 文代 青彩美術展（徳島市シビックセンター）。
- 尾崎 素子 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、鳴門市展（鳴門市市民会館）、白鳳洋画グループ展（鳴門市立図書館）。
- 河野 公子 洋画部会員展・青美展・平和美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、鳴門市展（鳴門市市民会館）。
- 鈴木 明雄 洋画部会員展・青美展・土曜展（郷文）、新春展・夏展（ヨンデンプラザ鳴門）、鳴門市展（鳴門市市民会館）。
- 田淵 浜子 東光会展：会友推挙（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展（郷文）。

- 林 信夫 洋画部会員展（郷文）、全美展（徳島市シビックセンター）。
- 大西 道夫 50周年記念モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）、徳島県教職員美術展：委嘱出品（教育会館）、グループ作品展道草展（喫茶やまなみ）。
- 北 美智子 徳島市芸術祭美術展・洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）。
- 佐藤 敬子 現展（東京都立美術館）、洋画部会員展・青美展・鴨島美術グループ展（郷文）。
- 福本 武子 東光会展：会友推挙（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展・洋画部会員展（郷文）。
- 福良 哲子 第2回徳島県文化協会フェア・徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品・洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、加茂谷文化祭（加茂谷総合センター）。
- 大宮 和雄 洋画部会員展・青美展・土曜展（郷文）。
- 笹田 興一 第60回美術文化展（東京都立美術館）、美術文化関西展（大阪市立天王寺美術館）、美術文化四国支部展（新居浜市立郷土美術館）、洋画部会員展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 中辻奈美枝 春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）。
- 住友 義彦 羽ノ浦町民文化祭（羽ノ浦町総合体育館）。
- 天田 弘之 台湾・日本文化交流美術展（台湾国立国父記念館）、50周年記念モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、モダンアート関西展（九州アジア美術館）、第33回モダンアート徳島支部展・第32回石井美術の会展（阿波銀プラザ）、第12回燎4人展・洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）、第15回国民文化祭：広島2000（広島県立美術館）。
- 武市善次郎 洋画部会員展・青美展・平和美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、日本美術会会員展（京都市立美術館）。
- 立岩 巖 第38回全日本美術協会展（東京都立美術館）、第24回フォーカス作家選抜展（上野ギャラリーホシヤ）、徳島県教職員美術展：招待出品（教育会館）、洋画部会員展（郷文）、第32回石井美術の会展（阿波銀プラザ）、世代美術展（徳島市シビックセンター）。
- 前野 亮治 三美展（ウズカ）。
- 松川 寛 50周年記念モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展（京



都市美術館)、モダンアート徳島支部展・第32回石井美術の会展(阿波銀プラザ)、洋画部会員展・第12回燎4人展・中央展出品者絵画展(郷文)、2000年西日本モダンアート展(福岡アジア美術館)。

- 水間 利生 第60回美術文化展:会員出品(東京都立美術館)、美術文化関西展(大阪市立天王寺美術館)、美術文化四国支部展(新居浜市立郷土美術館)、洋画部会員展(郷文)、世代美術展(徳島市シビックセンター)、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展(恰美術館)。
- 宮本 幸江 東光会展(東京都立美術館)、東光会展徳島支部展・洋画部会員展・中央展出品者絵画展・第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展(郷文)、第29回徳島・仙台文化交流女流美術展(宮城県立美術館)、徳島県女流美術家協会小品展・第32回石井美術の会展(阿波銀プラザ)。
- 毛利 谷子 東光会展:会員出品(東京都立美術館)、洋画部会員展・東光会展徳島支部展・中央展出品者絵画展・第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展(郷文)、徳島県女流美術家協会小品展・第32回石井美術の会展(阿波銀プラザ)、第29回徳島・仙台文化交流女流美術展(宮城県立美術館)。
- 大塚 政孜 洋画部会員展(郷文)、市場町文化祭・市場町文化協会総合作品展(市場町民ふれあいセンター)。
- ◎唐渡 覚 市場町文化祭(市場町民ふれあいセンター)、超流美術展(東京上野美術館)。
- 藤原 康夫 創元展(東京都立美術館)、洋画部会員展(郷文)、個展:四国霊場阿波の道(阿波町立図書館)。
- 越久 高照 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展:招待出品・青美展(郷文)、藍美展(藍住町福祉センター)、第15回国民文化祭:広島2000(広島県立美術館)。
- 片山 富市 第66回旺玄展(東京都立美術館)、中央展出品者絵画展(郷文)、旺美展中央出品者展・第32回石井美術の会展(阿波銀プラザ)、第6回上板町美術愛好会作品展(上板町技の館)。
- 二條 均 洋画部会員展・平和美術展・青美展(郷文)、板野美術クラブ展(ヨンデンプラザ徳島)。
- 藤井 香世 洋画部会員展・平和美術展(郷文)。
- 堀切 篤子 青彩美術展・全美展(徳島市シビックセンター)、堀切篤子・山口和子・中村晴代三人展(阿波銀プラザ)、藍美展(藍住町福祉センター)。
- 三沢 尚子 関西水彩展(大阪市立美術館)、第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展・洋画部会員展・第12回燎4人展・水彩 I R O D O R I 展(郷文)、徳島県女流美術家協会小品展(阿波銀プラザ)。

- 三好 初子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、徳島市芸術祭美術展：招待出品・洋画部会員展・東光会展徳島支部展・中央展出品者絵画展・第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）、第29回徳島・仙台文化交流女流美術展（宮城県立美術館）、藍美展（藍住町福祉センター）、三好初子画集「藍の詩」を出版。
- 岡田 光男 青美展・平和美術展・鴨島美術グループ展（郷文）。
- 岡本 征二 洋画部会員展・土曜展・鴨島美術グループ展（郷文）、鴨島町・市場町文化交流展（鴨島町文化研修センター・市場町コミュニティセンター）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）。
- 河田 安市 第76回白日会展：会員出品・第32回日展：会友・入選（東京都立美術館）、白日会展地方展出品（名古屋・鹿児島・大阪）、中央展出品者絵画展・洋画部会員展・第2回県文化協会フェア（郷文）、現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展（恰美術館）。
- 島上 二郎 東光会展（東京都立美術館）、東光会展徳島支部展・洋画部会員展（郷文）。
- 下時治郎秀臣 第76回白日会展：会員出品（東京都立美術館）、白日会展地方展出品（名古屋・鹿児島・大阪）、白日会展選抜展（大阪近鉄アート館）、かけがえのない現象展（日本橋・北浜三越）、現代美術展（大阪梅田画廊）、第10回麻の会展（阿波銀プラザ）、鴨島美術グループ展（郷文）。
- 志摩 政照 鴨島美術グループ展（郷文）。
- 林 伸也 第10回麻の会展（阿波銀プラザ）、個展（森珈琲店）。
- 真野 孝彦 二紀展（東京都立美術館）、鴨島美術グループ展・ピーコック展（阿波銀プラザ）青美展（郷文）、徳島二紀展（県立近代美術館ギャラリー）、鴨島町・市場町文化交流展（鴨島町文化研修センター・市場町コミュニティセンター）。
- 村本恵美子 洋画部会員展（郷文）。
- ◎結城 栄子 Departure2000（阿波銀プラザ）、結城栄子個展（本郷ギャラリー）、鳴門教育大学芸術系美術第14回終了展（文化の森21世紀館多目的活動室）。
- 湯岑エミ子 鴨島美術グループ展（郷文）、鴨島町・市場町文化交流展（鴨島町文化研修センター・市場町コミュニティセンター）。
- ◎川田 績 新入会員
- 喜多 直彦 洋画部会員展（郷文）、脇町文化祭美術展（脇町中学校）。
- 近藤 克子 第88回創立50周年徳島県女流美術家協会記念展（郷文）、徳島県教職員美術展（教育会館）、脇町文化祭美術展（脇町中学校）。
- 島川 君子 東光会展：会友出品（東京都立美術館）、東光会展徳島支部展・洋画部会

員展（郷文）、脇町文化祭美術展（脇町中学校）。

- 関 京子 八紅展（阿波銀プラザ）、脇町文化祭美術展（脇町中学校）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 武田 洋子 徳島県教職員美術展：委嘱出品（教育会館）、三好郡教職員春風展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、三加茂まつり協賛出品、祖谷平家まつり協賛出品。
- 藤本 晴子 二科展（東京都立美術館）、試行展（ヨンデンプラザ徳島）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、脇町文化祭美術展（脇町中学校）。
- 増井 厚子 洋画部会員展（郷文）、エナジー2000：徳島県障害者芸術祭（文化の森県立近代美術館ギャラリー）。
- 三谷多美子 第76回白日会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）。
- ◎小笠原秋子 第4回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、三好郡教職員春風展（ヨンデンプラザ池田）・町内分館展（三野町王子小学校）。
- 金岡 義和 現代童画展（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展（郷文）、第4回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）。
- 川原 真琴 洋画部会員展（郷文）。
- ◎川原 禮子 第4回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品。
- 木下 和江 第4回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、洋画部会員展（郷文）。
- 田野 安子 第4回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、洋画部会員展（郷文）。
- 為実美恵子 第4回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、井川町なでしこまつり協賛出品、井川町が生んだ画家展出品（井川町立辻小学校）、洋画部会員展（郷文）。
- 藤埜 理 創元展（東京都立美術館）、創美展（観音寺市）、三好郡教職員春風展（ヨンデンプラザ池田）、洋画部会員展（郷文）。
- 藤丸 家栄 第4回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、洋画部会員展（郷文）。
- 山口美千代 洋画部会員展（郷文）。
- △長井 公雄 住所変更。

## 会員の訃報

元徳島県美術家協会会長、元徳島県文化協会会長、徳島大学名誉教授で徳島県美術展をはじめ、県洋画界の発展のために尽くされた、河野太郎氏が平成12年8月19日に亡くなられ、徳島県美術家協会理事、洋画部委員で県展招待作家で、洋画界の発展に尽くされていた、川原康孝氏が平成12年7月10日に亡くられました。心からご冥福お祈り申し上げます。

# 写 真 部

部 会 長 櫛 淵 魏

## 年間展望

### ◎第55回県美術展

2000年、第55回という節目の年にあたり、県展運営委員会の意向をうけて、写真部委員会の審議により、今回展より次のように変更を決定した。

- ①審査に当たり複数出品者の作品は同時に審査を受ける。(7部門共通で運営委員会決定)
- ②入選以上は一人1点とする。
- ③作品はパネル張りに限る。

このように決定したことは、写真部にとっては画期的改革となったが、近年の応募人数及び点数の著しい増加によって、大規模公募展となっただけ、在るべき姿に落ち着いた時宜を得た改訂であった。

審査員には、現在の日本を代表する写真家である大石芳野先生を迎え、10月15日に審査を行った。応募点数は1,009点で、出品者数260人であったが、その中、入選以上に140点を選ばれた。審査評は「全体にとってもレベルが高く、選考に苦勞した。特選、準特選、奨励賞の差もごくわずかだ。他県の審査会と比べて、白黒の作品が多いのも目についた。偶然に特選4点のうち3点がそうだったが、全体に白黒の特徴が生かされた作品が多く素晴らしいと思う」ということであった。

特 選	「それぞれの道」	多川 静守
”	「熱演」	野藤みきよ
”	「翔」	岸上 俊博
”	「ひと休み」	増田 寿

準特選 森住 博・宮本幸治・岸田義市・日出頭作・大浦孝悦  
岩崎英昭・逢坂 登・田中喜久夫

会期は11月7日から19日までで、県郷土文化会館4階で開催された。展示会場は、本年よりパネル張りに統一され、また一人1点入選となったことにより、展示効果が上がり大変に好評であった。開展前日の11月6日にホテルクレメント徳島において、受賞者の表彰式が行われ、式後には、受賞者、来賓、役員関係者によるオープニングパーティで55回展を祝った。

## ◎第9回放美展

5月3日から7日まで県郷土文化会館で開催された。年とともに内容を充実してきた放美展は、秋の県展に対し、春は放美展として県写真界の代表的な公募展に発展した。今回展の応募数は1人3点以内の出品制限にもかかわらず547点の応募があり、出品者数も225人になった。

審査員は、西條征二、井上光雄、酒井博司の三氏が担当したが、入賞・入選は248点であった。

放美賞 赤木昭子  
優秀賞 田中喜久夫・川真田慶治・久保英樹・森 光・志摩育美  
森 英弘・岡村 清・石川徹雄・板東律男・竹本 正  
大和健司・森住 博・堀口幸男・久我千鶴・四宮正恵  
埴淵照二・岡本清憲・秋野昌子・吉村敏嗣・柳川信子  
土橋成行・梅久 匠 (以上22人)

## ◎徳島県文化協会フェア「第2回徳島県美術家協会選抜展」

1月21日から23日まで、県郷土文化会館で開催された。美協各部から70名の方が出品したが、写真部からは、西條征二、佐治孝、酒井博司、武内亨、田村泰弘、伊達照子、中川定典、橋本圭祐、林治郎、林敏彦、板東敏晴の11人が出品した。

## ◎現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展

8月5日から9月24日まで、鳴門市の恰美術館で開催された。恰美術館の企画展で、ニューヨーク在住の著名な現代美術家12人と県美術家協会の各部作家89人が出品したが、写真部からは25人が出品した。

## ◎平成12年度徳島県秀作巡回美術展

9月29日から11月13日まで、県下6か所を巡回して美術展を開催したが、写真部からは、榊淵魏、木田英之、橋本圭祐、増田清次の4人が出品した。

## ◎県美協 写真部撮影会

6月4日に恒例の写真部撮影会を行った。本年度は倉敷と決まり、美観地区とチボリ公園を選んで撮影ということで、希望者を募集したところ、会員40人の参加者があった。午前7時30分に徳島駅前を出発し午前10時30分に到着、自由行動で午後3時まで撮影し、午後6時過ぎに帰着した。作品創りとともに、会員相互の親睦を図ることのできた意義ある一日であった。世話役には、三木晴夫、上野照文、林敏彦、井藤光章、古井謙吉の各委員が当たった。

各分野での会員の活躍 ～中央展・個展・団体展など～

◎JPS（日本写真家協会）展（5月21日～30日 東京都美術館）

会員出品：荒井 賢治

◎第34回光展（日本光画会）（2月11日～13日 徳島市シビックセンター）

会員出品：酒井 博司・安長 剛

会友出品：川真田慶治・久保 英樹・小林 保子・清水 定七・毛利 次郎

公募（会友推薦）：佐藤 義雄

入 選：内田 澄子・内田 忠秋・清水 宗保・妹尾 早苗・富加見美枝

◎第48回二科会写真部展（9月1日～15日 東京都美術館）

会友出品：荒井 賢治

公募（推薦賞）：国見 良幸

奨励賞：大和 健司

入 選：森住 博

◎第55回研展（10月5日～14日 東京都美術館）

会員出品：酒井 博司

公募（奨励賞）：佐藤 義雄

◎第47回阿波踊り写真コンクール（10月15日～24日 阿波おどり会館）

特 選：柳本 正

準特選：佐野 辰夫・佐藤 義雄・姫田 慎治・大津 勝治

入 選：清水 宗保・岡村 清・浜田佳津子・大野 武・大野 泰子

田中喜久夫・原井 裕夫・岸田 義市

◎第7回朝日四国写真展（11月5日 県教育会館にて公開審査、以後四国四県を巡回展示）

朝日新聞大賞：姫田 慎治

徳島県知事賞：潮 満寿子

徳島県本部長賞：上杉 大一

特 選：阿部 啓三・森 賢一

奨励賞：野藤 敏美・野藤みきよ・梅本 貞範・川真田慶治

入 選：久我 千鶴・櫛淵 魏・久保 英樹・清水 宗保・田中喜久夫

船越 正文・森住 博・西條 征二・土橋 成行・清水 定七

佐藤 考利・佐野 辰夫

◎第8回コンタックスクラブ徳島支部展（1月21日～23日 ヨンデンプラザ徳島）

支 部 長：森住 博

◎第15回全日本写真連盟県本部写真展（2月4日～6日 徳島市シビックセンター）

県 本 部 長：井藤 光章

◎上野照文写真展（個展）

- ◆「記憶」（1月21日～23日 徳島市シビックセンター）
- ◆「フラワーズ」（2月15日～21日 徳島そごう美術画廊）

◎第31回ナルトびんぼけクラブ写真展（2月11日～13日 鳴門市山高ギャラリー）

会 長：川上たかと

◎春の出会い「三人展」（3月1日～9日 阿波銀プラザ）

写真出品：荒井 賢治

◎第1回ニコールクラブ徳島県支部展（4月14日～16日 徳島市シビックセンター）

支 部 長：櫛淵 魏

◎第17回サンカ会写真作品展（4月15日～17日 徳島市シビックセンター）

◎後藤能大写真展（個展）「平家のかくれ里・祖谷」（4月24日～30日 県郷土文化会館）

◎第23回写真同人「炎」作品展（5月5日～7日 徳島市シビックセンター）

会 長：西條 征二

◎第6回徳島ライカクラブ写真展（5月9日～11日 ヨンデンプラザ徳島）

会 長：武内 亨

◎第18回写真集団「風」作品展（6月16日～18日 徳島市シビックセンター）

会 長：安長 剛

◎第5回写一会写真展（6月16日～18日 ヨンデンプラザ徳島）

◎第14回徳島花を写す会写真展（8月4日～6日 徳島市シビックセンター）

会 長：酒井 博司

◎藤本宗子・康代親子写真展（8月1日～30日 徳島市ギャラリーグレイス）

◎第40回記念写楽会写真展（9月1日～3日 徳島市シビックセンター）

会 長：櫛淵 魏

◎第4回鋭光会写真展（10月6日～9日 徳島市シビックセンター）

会 長：林 治郎

◎三好和義写真展（個展）「清流 海部川」

（8月） 徳島そごう8階特設会場 （11月） 徳島城博物館



# 彫 刻 部

部会長 松 永 勉

## 年間展望

### ◎第55回県美術展（平成12年11月7日～19日）

今回は、二紀会彫刻部理事の日原公大先生に審査をお願いした。出品点数は30点で、その内18点が入選作品となった。出品総数は前回より8点少ないが、以前のような習作的仕事が減り、完成度の高い作品が増えている。入選作品は、素材の扱い方もバラエティーに富み、内容も濃い展示となった。

審査評では、「全体に大作が多く、素材も多彩であるため力強い印象を受ける。特に人体制作では、基礎がしっかりしている。課題としては、新しいことに取り組んで、自分のオリジナリティーをやることである。」と言われた。さらに「出品者がお互い競争することで、もっと良くなるのではないか」とも述べられた。審査後にも、出品者の質問に対して熱心に指導されており、出品者への今後の取り組むべき方向を示されていた。

受賞作は、特選（徳島市長賞）に蒔田寿氏の“黒の指標”が選ばれた。黒く着色した床を這うような木彫りで、構成の良さが目につく作品であった。審査評は「色とフォルムがマッチしてパワフルな作品である。面の構成も力強く黒の感じも良い」ということだった。蒔田氏は既に実績があり、今回はさらに自身の新しい方向を追求したものと思われる。準特選の玉田悦子氏の“想Ⅱ”は「着色がうまく、創造力があり、適度なデフォルメが現実感を与えている」と評された。また、準特選の上月佳代氏の“ドリスタン”には「独特で新鮮な印象を受けた。今後の具象を期待させる作品」との評をいただいた。二人とも実力をもつ作家であるので今後の活動に期待したい。

### ◎第9回放美展（平成12年5月3日～7日）

今回展の応募数は23点で、その内15点が入選した。作品は少ないが、素材が多様で内容的に充実した展示になった。欲を言えば抽象作品が目立つのに比べて具象作品に少しもの足りなさがあった。放美賞には、前回に引き続き二宮治夫氏の“絆”に決まった。杉の丸太を折った構成は野性味のある躍動的な空間が表現されたスケールの大きい作品であった。優秀賞には椋本幸男氏のボルトを溶接した作品“四股”が選ばれた。円形の組み合わせと空間の扱い方が面白いことで評価された。なお、今回の放美展の審査員は、濱口恵、松永勉、鎌田邦宏の三人が担当した。

### ◎現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展（平成12年8月5日～9月25日）

鳴門市の恰美術館の企画で開催され、県美術家協会の各部から70人の作品を出展したが、彫刻部としては、部会の委員7名が参加出品した。

## 会員消息

(県展・放美展関係は除く)

居上 真人	8月	県立近代美術館にて、子どものための「ワークショップ」	県立近代美術館
	9月	第85回二科展：会友出品	東京都立美術館
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	10月	日向現代彫刻展2000へ出品	宮崎県日向市
	11月	徳島商業高校90周年モニュメントを設置	徳島商業高校
	12月	那賀川町道の駅モニュメントを設置	那賀郡那賀川町
井下 俊作	8月	現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展	恰美術館
	9月	第55回行動展：会員出品	東京都立美術館
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	10月	第55回行動展（大阪巡回展）出品	大阪市立美術館
	11月	第2回西日本彫刻文化交流サミット参加	鳥取県米子市
大津 文昭	8月	現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展	恰美術館
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
河崎 良行	1月	第53回二紀・広島展	広島県立美術館
	3月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	4月	第5回春季二紀展	東京銀座画廊・美術館
	5月	徳島大学医学部に癒しのモニュメント「支え合う構成」を設置	徳島大学医学部
	8月	現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展	恰美術館
	9月	華と造形コラボレーション展へ出品	阿波銀プラザ
	9月	日本・ルーマニア文化交流協会200年展へ出品	東京芸術劇場ギャラリー
	10月	第54回二紀展	東京都立美術館
	11月	第53回二紀・京都展	京都市立美術館
	12月	第53回二紀・大阪展	大阪市立美術館
	鎌田 邦宏	3月	春季徳島二紀展
8月		現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展	恰美術館
8月		15周年記念徳島二紀展	県立近代美術館
10月		第54回二紀展	東京都立美術館
佐藤 隆	3月	吉野川ハイウェイオアシスに「生命の泉」を設置	三好郡三好町
	8月	現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展	恰美術館
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	11月	第2回西日本彫刻文化交流サミット参加	鳥取県米子市

渋谷 吉昭	5月	第6回ストーンミュージアム石の彫刻展へ出品	香川県庵治町	
	7月	アートヒル三好ヶ丘彫刻フェスタ	愛知県三好町	
	7月	平和美術展	県郷土文化会館	
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園	
中川 伸一	9月	第55回行動美術展：行動賞を受賞	東京都立美術館	
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園	
	11月	第2回西日本彫刻文化交流サミット参加	鳥取県米子市	
	11月	あいあいランド動物野外展へ出品	那賀郡相生町	
濱口 恵	1月	第33回モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ	
	1月	第2回文化協会フェアへ出品	県郷土文化会館	
	3月	第28回徳島市芸術祭美術展	県郷土文化会館	
	4月	第50回モダンアート展	東京都立美術館	
	6月	第20回記念モダンアート関西展	フジカワ画廊	
	8月	現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展	恰美術館	
	9月	県秀作巡回美術展へ出品	県内6会場	
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園	
	東 光司	5月	第6回ストーンミュージアム石の彫刻展へ出品	香川県庵治町
		8月	現代美術・国際交流 ニューヨーク 徳島100人展	恰美術館
松永 勉	9月	第55回行動美術展：会員出品	東京都立美術館	
	10月	第38回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園	
	10月	第55回行動展（大阪巡回展）出品	大阪市立美術館	
	11月	第2回西日本彫刻文化交流サミット参加	鳥取県米子市	
	11月	あいあいランド動物野外展へ出品	那賀郡相生町	
	蒔田 寿	3月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
8月		15周年記念徳島二紀展	県立近代美術館	
10月		第54回二紀展	東京都立美術館	
長岡 強	3月	第76回白日展：会員出品	東京都立美術館	
	4月	第30回日彫展：会員出品	東京都立美術館	
	9月	県秀作巡回美術展へ出品	県内6会場	
	11月	第32回日展：無鑑査出品	東京都立美術館	

# 美術工芸部

部会長 山上 馨

## 年間展望

### ◎第55回県美術展（11月7日～19日 県郷土文化会館）

20世紀最終年の県展美術工芸部門の応募点数は131点、応募者は99名であった。共に前回展を下回ったが、作品の質は重厚さが目立ち、審査は厳選となった。13点の賞候補から入賞8点（特選2点、準特選3点、奨励賞3点）が選ばれ、入選70点と無審査出品11点を加えた総展示数は89点となった。

今回の審査員は東京芸術大学教授の竹内順一先生にお願いした。総評として「技術的に高い作品と手慣れてはいないが素直でたくましい作品があって、この二つが審査場で非常にいいハーモニーを奏でていた。中堅・ベテランと思われる作品は全国展に出しても恥ずかしくない水準にあった。審査は、まず技術的にしっかりしていること、その上で現代の流行に迎合せず、自分らしさを出しているものを積極的に選んだ。～中略～

全体的に、染色、ガラス、陶芸はレベルが高かったが、木工、金工、漆などは出品数も少なく元気がなかった。また、自分の思いをナマでぶつけた作品が多かったが、より昇華させて、もう一段と高いところを目指してほしい。そのためには、日ごろから社会や人生に関心を持ち、自分自身を磨いていくことが大切である。」と、徳島県の美術工芸の傾向やレベル、製作についての心構えや取り組み方について貴重な示唆をいただいた。

なお、審査後に決まったことであるが、今回に限り設けられた最高齢の受賞者に与えられるミレニアム賞が、美術工芸部門からでたことは誠に喜ばしいことであった。技術と感覚の積み重ねが特に求められる美術工芸の世界では、年齢と共に高まっていく精進の大切さを思い、今後の励みにしたいものである。

特選（徳島新聞社長賞）	四十宮年代	「幻秋林」
〃	藤井 哲信	「レース紋帯祭器 #7」
準特選	越 由子	「蜃気楼」
〃	吉田 敏明	「翼（つばさ）」
〃	岡崎 益子	「慈愛」
奨励賞	宮本 孝	「奏（そう）」
〃	富田ちえ子	「流刻（手絞りすなご染）」
〃 《ミレニアム賞》	村上 綾子	「阿波の匂」

## ◎第9回放美展（5月3日～7日 県郷土文化会館）

放美展美術工芸部門の応募点数は134点、応募者は105名で共に前回は上回った。入賞7点（放美賞1点、優秀賞6点）、入選77点、無審査出品7点を加えた総展示点数は91点となり盛況であった。応募作品には新人の参加が増加するとともに、作品の大きさと質の向上が目立った。

放美賞・桜井慎治「窯変花器」（陶）は円筒形から三角形の口仕上げまでのひねりを加えた力強い洗練された形態と窯変による色調との調和のとれた秀作である。優秀賞・四十宮年代「旅の風景」（染・着物）は旅情を青を基調とした清楚で深味のある色調で染め上げた感性と技術の調和のとれた素晴らしい作品である。優秀賞・寒川治雄「鉄釉線文花器」（陶）は単純化した形態と線文様の調和で格調高く仕上げた秀作である。優秀賞・斎藤和彦「炎の詩～メルヘンの彼方へ」（金工・七宝）は黒と赤を基調に巧みに空間構成で見事に遠近感を作り出した秀作である。優秀賞・湯浅カツエ「ローケツ染めきもの夏色の風がそよぐ」（染・着物）は蠶の特質を生かしたモチーフの表現と裾模様の構成を深い紫で染めあげた暖か味のある格調高い秀作である。優秀賞・田村恵子「Modern Times」（パッチワーク）は赤・黒・白を都会的なセンスで調和させた色調と構成の見事な作品で、パッチワークの一つの方向性が感じられる秀作である。優秀賞・田村祐子「早春譜Ⅱ」（陶）は、手びねりの大作で、ほのぼのとした伸び上がる形態感と文様が調和した、やさしさと存在感のある秀作である。

全体的には、各ジャンルで新人の台頭が目立ち、思い切った表現で新しい感覚を吹き込んだ感があったが、賞候補として並べてみると、ベテランの表現力や美術工芸の本質をついた作品が目引く結果となった。

放美賞	桜井 慎治	「窯変花器」
優秀賞	四十宮年代	「旅の風景」
〃	寒川 治雄	「鉄釉線文花器」
〃	斎藤 和彦	「炎の詩～メルヘンの彼方へ」
〃	湯浅カツエ	「ローケツ染めきもの 夏色の風がそよぐ」
〃	田村 恵子	「Modern Times」
〃	田村 祐子	「早春譜Ⅱ」

### 会員消息

（県展・放美展を除く）

天野 和子	・第8回夢のきざはし六人展	2月	ヨンデンプラザ徳島
	・ジャパンフェスティバル in ウィーン	4月	ウイナー・コンツェルトハウス
	・日本キルダーズ協会第10回記念展	9月	韓国ソウル
	1人1点キルト展 in ソウル		草田繊維博物館

	◦ ワールド・キルトコンテスト	8月	ランシング、ミシガン州他
	◦ インターナショナルキルトフェスティバル	11月	ヒューストン
	◦ 第12回デザインドリーム展	11月	徳島市木工会館
犬伏 絢	◦ 犬伏絢作品展	3月	大丸・京都店
	◦ 第55回新匠工芸展（会友賞）	11月	京都市美術館
多智花佐代子	◦ 第38回現代工芸四国会展	1月	高松・三越
	◦ 第39回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ 第32回日展	11月	東京都立美術館
	◦ 多智花佐代子 織作品展	11月	阿波銀プラザ
	◦ 第39回現代工芸四国会展	12月	高松・三越
九十九健二	◦ 第1美術展	5月	東京都立美術館
富田ちえ子	◦ 徳島県手工芸家協会2000年海外展 ウィーンジャパンフェスティバル	4月	ウィーン・オペラハウス
	◦ 社団法人 日本染織作家協会（会友推挙）	8月	
新居 猛	◦ 「超えた家具」	1月	ディテール誌（季刊）
	◦ 「この素晴らしきものたち」椅子篇	1月	NHKハイビジョン
	◦ 「海外で真似された日本の椅子」	12月	家庭画報誌
	◦ 「世界が認めた椅子」	12月	ASA誌
西 浩子	◦ 第38回現代工芸四国会展	1月	高松・三越
	◦ 女子美術大学100周年記念同窓会展	8月	阿波銀プラザ
	◦ 第88回徳島県女流美術家協会展	10月	県郷土文化会館
	◦ 第39回現代工芸四国会展	12月	高松・三越
平井 恵子	◦ 大津市展（50回記念企画展）	1月	大津市歴史博物館
	◦ 第39回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ 大津市展	7月	大津市歴史博物館
	◦ 滋賀県工芸美術展	9月	滋賀県立近代美術館
森 賢一	◦ 第39回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ 第39回現代工芸四国会展（現代工芸四国会会員賞）	12月	高松・三越
山本 和子	◦ 第2回全国阿波藍染織作家協会展	11月	東京都目黒区美術館
	◦ 第39回現代工芸四国会展	12月	高松・三越
四十宮年代	◦ 2000年きもの絵師と陶芸の仲間達	1月	池田市ギャラリーVEGA
	◦ 第28回徳島市芸術祭美術展	3月	県郷土文化会館
	◦ 第23回日本染織作家展	4月	京都文化博物館
	◦ 第35回中部染色作家展	6月	名古屋市博物館

	◦ 第43回日本工芸会四国支部展	10月	高松・三越
松山 豊	◦ 松茂町陶芸教室展	3月	松茂町歴史資料館
	◦ 陶炎会展	5月	県郷土文化会館
	◦ 徳島陶芸会展	5月	徳島市シビックセンター
	◦ 松茂町陶芸教室展	10月	松茂町歴史資料館
	◦ 鳴門市文化祭	11月	鳴門市市民会館
矢野 款一	◦ 第47回日本伝統工芸展	9月	東京日本橋・三越
	◦ 第43回日本工芸会四国支部展	10月	高松・三越
	◦ 陶の会「焱」	11月	兵庫県洲本市民会館
影谷美代子	◦ 第19回徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
	◦ 小松島市芸術祭染色展	11月	小松島市中央会館
斎藤 和彦	◦ 日本七宝作家協会展（会長賞）	7月	東京・上野の森美術館
小栗加代子	◦ 第39回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ 徳島県手工芸展2000年記念 ウィーンジャパンフェスティバル	4月	ウィーン・オペラハウス
	◦ 日本キルダーズ協会第10回記念展 1人1点キルト展 in ソウル	9月	韓国ソウル 草田繊維博物館
宮本 孝	◦ 第19回徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
堺 都美子	◦ 第39回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ 第19回徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
	◦ 藍住町美術展	11月	藍住町福祉センター
	◦ ひまわり展	12月	ヨンデンプラザ徳島
武田 美子	◦ “手のぬくもりを” 二人展	4月	阿波銀プラザ
	◦ 第12回和展	6月	東京・上野の森美術館
橘 恵	◦ 藍染夫婦展	2月	藍染工芸館
松下 雄介	◦ 松下雄介作陶展（個展）	4月	東京日本橋・三越
	◦ 現代陶芸交流展	7月	ソウル・ギャラリーSAGAN
	◦ 現代陶芸交流展	7月	ギャラリー「アート・ ミュージアム・ギンザ」
	◦ 第47回日本伝統工芸展	9月	東京日本橋・三越
丸居 哲雄	◦ エナージ（徳島県障害者芸術祭）	10月	文化の森 県立近代美術館
	◦ 上板町美術愛好会作品展	11月	上板町 技の館

# 書 道 部

部 会 長 新 居 藍 州

## 年間展望

### ◎第55回県美術展（第2期 11月21日～26日）

- ・出品点数814点、出品者数675名、入選入賞計326点（入選率40%）
- ・出品点数で前回比26点増、出品者数は29名減となった。これは1点出品者が86名減に対し2点出品者が55名増となったことによるものである。2点出品者の増加は仮名・前衛部門に顕著であった。1期制維持の方針を執るとすれば次回以降の傾向に注目しなければならない。
- ・特別出品・招待・無鑑査・賛助出品を加えた展示総数は、376点となった。1期制のもとでは適切な数であろう。

### ◎第9回放美展（5月3日～7日）

- ・出品点数152点（前回比16点増）入選入賞数103点、入選率67.7%。役員・無鑑査の12点を加えて展示総数は115点。作品の水準はある程度の位置で定着しているが本展の趣旨は実現されていると考えられる。壁面の制約が反映して出品点数も毎回似たものとなっている。ただ、出品者の顔ぶれが回によって大きい変動が見られるのが本展の実情である。

### ◎平成12年6月14日。田中双鶴氏が逝去せられた。

戦前戦後を通じて本県書道教育の振興に尽くされた功績はまことに偉大なものがある。作家としても日展入選を重ねる傍ら、太玄書道会、東京書作展の重鎮として本県書作家の推挽にも努められた。昭和32年・第12回から昭和60年・第40回展まで県展書道部門の審査員を勤められるとともに昭和54年から平成4年に至る14年間書道部会長として部の運営に尽くされ、今日の県展書道部の発展を実現された。謹んでご冥福をお祈りする次第である。

### ◎県立書道美術館（仮称・文学館と併設）は8月25日起工式をあげ目下工事中で、平成14年春完工、同年秋開館の予定である。建設と併行して図書・書蹟などの資料収集も行われている。

### ◎社中展・個展等（県内開催分）

- |             |             |        |     |
|-------------|-------------|--------|-----|
| ・第20回書研社展   | 徳島市シビックセンター | 3月3日～  | 5日  |
| ・第13回長玄書道会展 | 阿波銀プラザ      | 3月11日～ | 13日 |
| ・第7回大耽会書展   | 県郷土文化会館     | 4月14日～ | 16日 |



◦ 第10回荒井天鶴詞・書展	県郷土文化会館	4月20日～	23日
◦ 第15回正鋒会書展	徳島市シビックセンター	6月3日～	5日
◦ 第29回東玄書道会展	県郷土文化会館	6月23日～	25日
◦ 第29回徳島雪心会書作展	徳島市シビックセンター	9月15日～	17日
◦ 第63回徳島書芸院選抜展	県郷土文化会館	9月21日～	24日
◦ 第30回直心会書展	県郷土文化会館	9月22日～	24日
◦ 第35回書道研究清潮書作展	県郷土文化会館	9月29日～	10月1日
◦ 第23回泉心書作展	県郷土文化会館	10月19日～	22日
◦ 第24回克展	徳島市シビックセンター	11月1日～	3日
◦ 第12回睦月会書展	徳島市シビックセンター	11月18日～	20日
◦ 第4回継ぎ紙とかなの美展	ヨンデンプラザ徳島	12月2日～	3日
◦ 第5回尚真書展	県郷土文化会館	12月8日～	10日
◦ 第4回せせらぎ書展	徳島市シビックセンター	12月9日～	11日
◦ 第30回光輪社書作展	県郷土文化センター	12月22日～	24日

## 個人消息 (平成12年1月～12月)

### 1. 中央展・県外展に審査員・役員として活躍し、作品を発表した人々

- 第41回太玄会書展 (東京都美術館 1/11～16)  
田中双鶴・笹尾芳石・春藤大耿・田村昇鶴・西谷香峰・大櫛一峰・近藤静苑  
竹田和代・中尾勝子・中谷史子
- 第28回日本の書展 (東京銀座画廊美術館 2/7～12)  
勝瀬景流・玉城乾香
- 東京書作展選抜作家展 (東京都美術館 2/20～26)  
田中双鶴・春藤大耿・近藤静苑・中尾勝子ほか
- 第54回日本書芸院展 (大阪市立美術館 2/14～21 4/10～16)  
勝瀬景流・伊丹東龍・上田溪水・隅田英二・高田青蓮・能仁華瑤・福家美鵬  
古川蕙秀・長谷美峰
- 第36回創玄展 (東京都美術館 3/7～12)  
荒井天鶴・荒井彭仙・坂本霄風・佐藤宗香・佐原和清・芝原醒鶴・高岡晃祥  
多田清芳・玉城乾香・長原皋聖・永松春苑・浜佳香
- 第19回日本刻字展 (東京都美術館 3/7～12)  
横田素林
- 第23回日本かな書展 (東京日本橋高島屋 5/18～28)  
讃岐泰泉・藤若美風

- 第36回太玄会役員書展（東京新宿朝日生命ギャラリー 6/1～6）  
 笹尾芳石・春藤大耿・田村昇鶴・近藤静苑・竹田和代・中尾勝子・中谷史子
- 第52回毎日書道展（四国展）（愛媛県立美術館 8/22～27）  
 荒井天鶴・荒井彭仙・岸 潮風・佐藤宗香・佐原和清・芝原醒鶴・多田清芳  
 玉城乾香・永松春苑・浜 佳香
- 第17回読売書法展（四国展）（高松市美術館ほか 9/12～17）  
 東 南光・伊丹東龍・上田溪水・隅田英二・高田青蓮・新居藍州・能仁華瑤  
 福家美鵬・古川秀蕙・山口華城・勝瀬景流・上田輝芳・宇山泰鳳・河野真流  
 薄田玲泉・竹内虹舟・長谷美峰・宮守崇流
- 第26回創玄現代書展（東京セントラル美術館 10/31～11/5）  
 荒井彭仙・長原皋聖・浜 佳香
- 第32回日展（東京都美術展 11/2～24）  
 勝瀬景流（委嘱）
- 第22回東京書作展（東京サンシャインシティ文化会館 11/28～12/3）  
 春藤大耿・南 溪石・近藤静苑・中尾勝子
- 第40回璞社書展（大阪市立美術館 11/28～12/3）  
 東 南光・上田溪水・春藤大耿・馬居汀香・清水桂月・鈴木理恵・武市鳴雲  
 東甫白亭・豊浦春光・長江頌石・能仁華瑤・弘田長風・吉田素川ほか

## 2. 中央展・県外展に入賞した人々（社中展を除く）

- 第41回太玄会書展（東京都美術館 1/11～16）
  - （特 選） 春藤玉秀・弘田長風・阿部敬子・大久保廣粹・詫間大雀
  - （特 別 賞） 由利里子
  - （奨 励 賞） 椎野春翠・足達玉美・大塚秀峰・西宇明美
  - （新 人 賞） 阿部博子・阿部芳雲・辻 尚子
  - （推 薦） 小出圭子・篠原純子・藤本満里子
  - （準 推 薦） 猪子弘美・笠井民子・釜内深雪・妹尾敏子・武市恵美  
 原田尚鳳・三崎久子
- 第22回日本書道学院展（東京都立産業貿易センター 3/25～27）
  - （大 賞） 宮守崇流
  - （準 大 賞） 竹内虹舟
- 第54回日本書芸院展（大阪市立美術館 2/15～20 4/10～16）
  - （特 別 賞） 小松美佳・鳩成青嶂・八木藍玉・上田輝芳・河野真流
  - （特 選） 伊勢春瓊・宇山耿鶴・近藤美香・谷 弘美・吉田京湖  
 亀石文苑・辻 尚子

- (一科推薦賞) 横田茜子・伊丹志織・内田麻紀・森西美也子
- (二科推薦賞) 植村恭子・吉田翠彩・梶真里子・久積希美子・吉川智野
- 第36回創玄展(東京都美術館ほか 3/7~12)
- (秀逸) 朝三臯如・岩本志豪・大島溪石・大西清葩・大西 眸  
上原瑞香・川人和美・谷口昭子・富永美祥・仁木志香  
福永培風・丸岡香貞
- (二科賞) 桜間好佳・坂本貴子・多田昌子・豊田直美
- (準二科賞) 岡崎啓香・小西和美・中村悦子・野田満代・福島理恵子  
安田ゆかり
- 第17回産経国際書展(東京池袋サンシャイン会館 7/22~30)
- (無鑑査特別奨励賞) 佐藤美智代
- (会友賞) 市川陽子・川人皓子・坂野雅子・湊 紀子・向井幸子
- (特選) 井内淑恵・久次米のり子
- (秀作) 武市直子・村口 透
- 第52回毎日書道展(四国展)(愛媛県立美術館 8/22~27)
- (秀作) 大西英仙・野田香洋・平岡幽琴・吉田和婉
- 第17回読売書法展(四国展)
- (読売新聞社賞) 東 南光・伊丹東龍
- (特選) 春藤大耿・福永美泉・井上虹雨・亀石文苑・佐野翠苑
- (秀逸) 米澤東籬・赤川景舟・伊丹志織・内田麻紀・加村喜美子  
倉本景雨・辻 尚子・森西美也子・山本景琴
- 第22回東京書作展(サンシャインシティ文化会館 11/28~12/3)
- (特別賞) 田村昇鶴・富永竹香・広島章子
- (優秀賞) 馬居汀香・阿部敬子・井川幸子・稲垣幸風・籓 品子  
妹尾敏子・詫間勝陽・中村絢子・森本朝子
- (奨励賞) 弘田長風・井上小百合・木村弘子・中村美和・福田雪江
- 第32回日展(東京都美術館 11/2~24)
- (入選) 西岡五峰・亀石文苑
- (新入選) 向井京子

# デザイン部

部会長 坂本 三千一

## 年間展望

デザイン部会にとって今年は節目の年である。

昭和46年、第26回県展に「商業美術」部門として加わって30年の節目、今年は55回記念展。放美展も来年（平成13年）は10回展を迎える。

◎徳島レタリングクラブと共催でグラフィックデザイン50「徳島の観光ポスター展」を約一年かけ企画、県内50市町村の観光をデザイナーの感性で制作、両会の22名が2～3点を担当、50点を完成させた。3月16日～20日に県立近代美術館ギャラリー、続いて阿南展を5月16日～21日よんでエネルギープラザ阿南、日和佐展を5月22日～28日日和佐コミュニティホール、池田展を6月27日～7月2日よんでんプラザ池田に巡回展示した。徳島新聞を始め朝日、毎日新聞、テレビではNHK徳島で報道された。県内の50市町村のポスターが一堂に展示されるのは初めてのことで反響を呼んだ。久しぶりのスケールの大きな展覧会となった。

レタリングクラブの出品者は、石田武・岡山恵美子・小泉まい子・四宮精子・須藤政代・背川光恵・頭師理恵・中山武博の8氏であった。

◎坂野美恵子さんが、県美術家協会会員の中から今年の活動を評価され、県文化協会「第6回芸術文化奨励賞」を受賞されました。

◎今年の節目に県展、放美展の応募要項、部会での口約束や馴れ合い、前例の見直し。役員の作業分担などを決めた「内部規定」を作成し2001年には実施したい。

◎第9回放美展（5月3日～7日 郷文において開催。四国放送と共催）

出品点数78点のうち入賞5、入選35。今年もイラスト作品が中心で、高校生ら若い世代の応募で熱気あふれる審査になった。放美賞の川西正洋さん「地球傷害犯人指名手配」は米国のヒップホップ文化を感じさせる作品で、パワーあふれる若々しさを高く評価された。優秀賞は長尾哲宏さんの「ストロベリーガール／レディーバード」は女性の顔のアップで大胆に表現したCG作品。佐々木美佳さん「Ooh…please love me」のわい雑な構成によるイラストも見る者を楽しませる。大東浩司さん「Poster①」近未来的なイメージのCG作品。武蔵光子さん「ささやき」はしっとりとした味わいが優しさを醸し出していた。（審査評から抜粋）審査員＝福井章、齋藤繁次、敷島のり子。

会員の入選者が見当たらなかったのは、若いパワーに圧されたか、席を譲ったか、今

年も徳商美術部デザイン部の活躍が目にとまる。「16人が入賞・入選」「初の放美賞獲得も」と徳島新聞の題字が踊っていた。

### ◎平成12年度徳島県秀作巡回美術展

(9月29日～11月13日 県内各所において開催。県生活文化国際総室)

平成12年度徳島県地方文化振興事業・第4回徳島県民文化祭協賛事業として徳島県環境生活部生活文化国際総室が毎年行っているものです。

出品者は以下の4名。・浅野昌哉「ENDANGERED SPECIES」・田中一郎「コミュニケーション2000」・敷島のり子「peace of mind」・齋藤志津子「十字架」を出品。石井町中央公民館、相生森林美術館、日和佐町コミュニティホール、山川アメニティセンター、羽ノ浦町国民総合体育館、牟岐町海の総合文化センターを巡回した。

### ◎第55回県美術展(第1期 11月7日～19日 郷文において開催。徳島新聞社と共催)

節目のデザイン部会、55回展・審査員候補5人の内から杉浦康平氏に決まった。出品数110点100人(昨年140点、118人)から入選40点を選ばれる。特選・美術家協会会長賞(特別賞)カオス=北島豊嗣さん、特選・僕の右腕=川西正洋さんが受賞。準特選に敷島のり子さん、富永雅子さん、稲実宏美さん。奨励賞に寺本礼子さん、長坂直美さん、横田実希さん、がそれぞれ受賞した。部会員から北島、敷島、齋藤志津子の3人が入賞・入選した。

杉浦氏は審査方針としてデザイン的な意図がはっきりしているものを選ぼうと心掛けたと云う。一通り見た後、ポスターとイラストレーション、ポスターとイラストの中間の作品に分けた。ポスターはポスターとしての機能を持っているか何のポスターか、いつ・どこで、が表現されているか。何の目的のイラストか、何のポスターのためのイラストか。公開審査は不馴れといいながら若い学生達に理解しやすく意見交換しながら熱心に時間一杯かけて審査いただいた。役員一同今年の審査は特に良かった。授業を受けているようで楽しかったですとの声も聞いた。ずっと前から審査して貰いたかった一人でした。今回の審査会でプロのナマの教えを聞くことができ、次は更にレベルアップした作品として出てくるものと期待される。

### 会員消息

(放美展・県展関係は除く。順不同)

#### ■北島 豊嗣

3月 グラフィックデザイン50「徳島の観光ポスター展」ポスターデザイン

3月 徳島の観光ポスター展出品

(鳴門市、山城町、川島町、担当)

県立近代美術館ギャラリー、他

6月 NTTドコモ阿波踊り浴衣デザイン

8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館

■沢口 功

3月 徳島市芸術祭美術展・審査員出品 郷土文化会館

3月 徳島の観光ポスター展出品

(市場町、海南町、東祖谷山村、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他

8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館

12月 徳島新聞社会文化事業団

第29回歳末チャリティー作品色紙即売展出品 徳島そごう

■坂本三千一

1月 県文化協会フェア(第2回美術家協会選抜展)出品 郷土文化会館

1月 日本野鳥の会 徳島県支部会報表紙(1~12月)イラスト制作

3月 徳島の観光ポスター展出品

(徳島市、上那賀町、三加茂町、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他

3月 木南征山 開軒30周年 尺八リサイタルパンフ、リーフレットデザイン

12月 徳島新聞社会文化事業団

第29回歳末チャリティー作品色紙即売展出品 徳島そごう

■浅野 昌哉

3月 徳島の観光ポスター展出品

(北島町、石井町、日和佐町、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他

9~11月 平成12年度徳島県秀作巡回美術展出品 (文化国際総室・県内6か所)

■田中 一郎

3月 徳島の観光ポスター展出品

(美馬町、由岐町、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他

8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館

9~11月 平成12年度徳島県秀作巡回美術展出品 (文化国際総室・県内6か所)

11月 第55回徳島県美術展のポスター、チケット、プログラム表紙をデザイン

11月 第15回徳島ジュニアコーラス定期演奏会のチラシ、チケット、プログラム表紙をデザイン

11月 第21回ヴォーカルグループSoleコンサートのポスター、チケット、チラシをデザイン

■福井 章

3月 徳島の観光ポスター展出品

(藍住町、一字村、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他

9月 2001年度年賀状徳島県版イラスト制作 (四国郵政局、徳島中央郵便局)

- 10～11月 徳島新聞新年号企画「2001年とくしまスケッチ」 徳島新聞社広告部  
 12月 徳島新聞社会文化事業団  
 第29回歳末チャリティー作品色紙即売展出品 徳島そごう

■敷島のり子

- 3月 徳島の観光ポスター展出品  
 (脇町、神山町、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他  
 4月 「国際ポスター展」in はな・はるフェスタ出品 新町ボードウォーク  
 主催・ポスターギャラリー実行委員会  
 8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館  
 9～11月 平成12年度徳島県秀作巡回美術展出品 (文化国際絵室・県内6か所)

■齋藤 繁次

- 2月 サイトウシゲジ イラスト展 ドクターエンドウ徳島店ギャラリー  
 3月 徳島の観光ポスター展出品  
 (池田町、吉野町、羽ノ浦町、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他  
 4～5月 24人展 松茂住宅展示場  
 9月 アナザサイト展出品 文化の森21世紀館  
 8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館  
 11月 徳島デザインドリーム2000 展出品 徳島市木工会館  
 11月 藍美展出品 藍住町福祉センター2F  
 12月 夢あかりフェスティバルスライド作品上映 藍場浜公園

■吉本 實

- 1月 県文化協会フェア(第2回美術家協会選抜展)出品 郷土文化会館  
 3月 徳島の観光ポスター展出品  
 (上板町、西祖谷山村、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他  
 8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館  
 8月 JAGDA阿波踊りポスター展 新町川ボードウォーク  
 11月 徳島デザインドリーム2000 展出品 徳島市木工会館  
 01. 3月 徳島市芸術祭美術展デザイン部門特別出品 郷土文化会館

■四十宮隆志

- 1月 県文化協会フェア(第2回美術家協会選抜展)出品 郷土文化会館  
 3月 徳島の観光ポスター展出品  
 (土成町、小松島市、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他  
 8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館  
 8月 第8回広島国際アニメーションフェスティバル  
 作家交流&webサイトレポート取材

- 11月 徳島デザインドリーム2000 展出品 徳島市木工会館
- 11月 第13回東京国際映画祭&ファンタスティック映画祭  
作家交流&webサイトレポート取材
- 11月 第5回アニメーション神戸 (The 5th.ANIMATION KOBE)  
作家交流&webサイトレポート取材
- 12月 「とくしま夢あかり21」 デジタルアニメーション作品出品 藍場浜公園
01. 2月 幾原邦彦監督公式サイト「イクニweb」英語版を含む全面リニューアル

■坂野美恵子

- 3月 徳島の観光ポスター展出品  
(松茂町、佐那河内村、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他
- 3月 二科会デザイン部70人展(新世紀への視点) 出品  
東京アート・ミュージアム・ギンザ
- 3月 平成11年度/徳島県文化協会第6回芸術文化奨励賞受賞
- 8月 第85回二科展デザイン部門会友出品
- 8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館

■齋藤志津子

- 1月 気ままに旅気分イラスト原画展 ヨンデン徳島
- 1月 県文化協会フェア(第2回美術家協会選抜展) 出品 郷土文化会館
- 3月 徳島の観光ポスター展出品  
(阿波町、木頭村、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他
- 4月 齋藤志津子イラスト展 トヨタアトラツイン
- 4~5月 気ままに旅気分イラスト巡回展 藍住/藍の館
- 6月 気ままに旅気分イラスト巡回展 ヨンデン池田
- 7月 気ままに旅気分イラスト巡回展 ヨンデン阿南
- 8月 現代美術国際交流ニューヨーク徳島100人展出品 恰美術館
- 9~11月 平成12年度徳島県秀作巡回美術展出品 (文化国際総室・県内6か所)
- 11月 藍美展出品 藍住町福祉センター

■岩佐 雅功

- 1月 県文化協会フェア(第2回美術家協会選抜展) 出品 郷土文化会館
- 3月 徳島の観光ポスター展出品  
(木沢村、三好町、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他

■桑原 美枝

- 3月 徳島の観光ポスター展出品  
(板野町、鴨島町、担当) 県立近代美術館ギャラリー、他



平成12年度 第4回徳島県民文化祭

第55回徳島県美術展（県展）公募規定

区分	部門						
	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
搬入日	10月8日	10月7日	10月15日	10月8日	10月8日	10月14日	10月8日
搬入先	徳島県郷土文化会館						
審査日	10月8日	10月8日	10月15日	10月8日	10月8日	10月15日	10月8日
審査員	松尾敏男	佐々木 豊	大石芳野	日原公大	竹内順一	田中節山 村上俄山 黒田玄夏	杉浦康平
出品料	協会員 1点目 2,500円		その他の方 3,500円		2点目からはすべて 1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未公開作品に限る</li> <li>・点数は制限なし</li> <li>・小・中学校在学者は出品できない</li> <li>・20号以上額プチふくめタテ、ヨコ1.9m以内、額・枠張り（ガラス・アクリル不可）</li> <li>・吊り紐</li> </ul>	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20号以上（水彩は20号以上、版画は10号以上とする）</li> <li>・額</li> <li>・吊り紐</li> </ul>	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組・単写真とも画面サイズ、半切以上（カラーは印画に限る）</li> <li>・無鑑査以上は画面サイズ半切以上、単写真に限る</li> <li>・パネル張り（組写真は1パネル(90×180cm以内)に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの）</li> </ul>	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内</li> <li>・材料は自由、展示可能なものに限る</li> </ul>	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさ制限なし（ただし、平面作品はタテ1.8×ヨコ1.5m以内）</li> <li>・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等</li> <li>・展示できる用具をつける</li> </ul>	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半切又は全紙横<math>\frac{1}{2}</math>以上、仕上がり面積が1.47㎡（16平方尺）以内、縦・横自由</li> <li>巻子本・帖（40×300cm以内）（例） 61cm（2尺）×242cm（8尺）枠張 79cm（2.6尺）×181cm（6尺）枠張 91cm（3尺）×161cm（5.3尺）枠張 121cm（4尺）×121cm（4尺）枠張</li> <li>半切・全紙<math>\frac{1}{2}</math>・聯落まで額装</li> <li>アクリル入りでもよい</li> <li>無鑑査以上は半切以内</li> <li>・部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする</li> </ul>	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B1パネル 横728×縦1,030ミリ</li> <li>厚さ5～75ミリ程度</li> <li>重さ5kg以内</li> <li>・課題は自由（実在の商品名・会社名等は除く）</li> <li>・法的規制に触れないこと</li> <li>・吊り紐</li> </ul>
入賞	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 3点 準特選 5点 奨励賞 5点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 4点 準特選 8点 奨励賞 8点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 1点 準特選 2点 奨励賞 2点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 8点 準特選 13点 奨励賞 13点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数
	（各部門とも特別賞は特選の内数）						
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。</li> <li>・展示作品は一期は11月19日（日）、二期は11月26日（日）の午後5時から午後6時までに搬出すること。</li> <li>・所定の期日までに搬出しない場合は主催者において処分する。</li> </ul>						

第 55 回 県 美 術 展

特 別 ・ 招 待 ・ 無 鑑 査 ・ 賛 助 出 品 者 名

☆ 日 本 画

(特別出品)	荻野行夫		
(招待)	長尾弘子	橋本正弘	中川健男
	岡英彦	土方るみ子	西野和男
	土井洋子		
(賛助出品)	森  蔦苑	高田瑞雪	長谷  壽

☆ 洋 画

(特別出品)	佐野比呂志	永山隆二	長井公雄
(招待)	清水亟悞	楠瀬  等	立岩  巖
	露口敏幸	岡本征二	長尾弘久
(賛助出品)	浅田二郎	岡  多美子	柏木雅雄
	河田安市	黒崎志郎	後藤田仁一
	榭田  務	松川  寛	岡田  守
	中辻奈美枝		

☆ 写 真

(招待)	増田清次	井上光雄	木田英之
	西條征二	勝西雅夫	藤井  梵
	武内  亨	笹田敏雄	櫛  洵
	酒井博司	三好和義	上野照文
	森  賢一	橋本圭祐	安長  剛
	前浦芳久	荒井賢治	林  敏彦
	多田晴美	古井  謙吉	中野建吉
	井藤光章		
(無鑑査)	大和健司	柳  本  正	前坂祥文

☆ 彫 刻

(特別出品)	河崎良行		
(招待)	佐藤隆	大津文昭	井下俊作
	鎌田邦宏	松永  勉	
(無鑑査)	居上真人		
(賛助出品)	長岡  強		

☆ 美術工芸

(特別出品)	山 上 馨						
(招待)	新 居 雄 介		高 橋 勇			多智花 佐代子	森 賢 一
	松 下 雄 介		高 松 慶 一				
	橋 上 正 典		犬 伏 川 一 絢				
(贊助出品)	村 上 正 典		中 川 存				

☆ 書 道

(特別出品)	荒 井 天 鶴		田 中 栢 翠			新 居 藍 州	
(招待)	讚 岐 泰 泉		長 原 皋 聖			高 原 清 泉	
	宮 井 青 雨		成 尾 莊 秀			渡 邊 草 石	
	西 田 南 龍		芝 原 醒 鶴			前 川 古 舟	
	原 清 霄 月		美 馬 幾 美			春 勝 大 景	
	中 水 桂 子		長 谷 美 好			近 藤 瀨 順	
	川 上 虹 泉		三 日 竹 武			岡 山 島 口	
	上 田 溪 彭		武 富 坂 松			中 永 尾 松	
	荒 藤 若 美		坂 久 本 本			永 浜 多 田	
	佐 藤 田 小		富 本 本 田			田 增 林	
	島 田 英 乾		坂 松 薄 能				
	隅 城 山 石		高 岡 仁 晃				
(無 鑑 査)	宇 山 石						
(贊助出品)	東 南 光						

☆ デザイン

(特別出品)	坂 本 三千一						
(招待)	浅 野 昌 哉		斎 藤 繁 次			坂 野 美 恵 子	
(贊助出品)	福 井 章						

## あ と が き

いよいよ二十一世紀を迎えました。何か気持ちとしては引き締まるものを感じます。

さて、徳島県美術展も戦後の昭和21年に第1回展を開催してから55回展が終了しました。最近は各種の展覧会が多かったり、中央展へ出品する方も多くなったのか、いろいろな原因が考えられると思いますが、全体に活気を感じないようにも思われます。長い歴史と伝統のある県美術展を、今後どのように、県民の一大美術展としていくのか考えなくてはならないと思います。それには今までかかわってきた方々以外の方々にも意見をいただく必要があるかとも考えられます。

一方、放美展も早いもので、10回展を迎えることとなります。春の総合美術展としては定着してまいりましたように思われますが、さらに県美術展と違った味をもつようにすべきではないかという意見もあり、考えさせられるものがあるかと思えます。

年報も従来のような形態になりましたが、各部長に各部の展望をしていただきました。表紙はデザイン部の福井章さんにいただきました。

会員の皆さんが各部の会員制度を充実させ、もっともっと部会運営に声を反映させることが、協会自体の発展にもつながると思えますと考えますので、創作活動に励まれるとともに、同じ志しをもつ方の部会への加入についても積極的にお力添え下さいますようお願いいたします。

皆様の心からのご支援をお願いいたします。

平成13年3月

県美術家協会事務局

## 美 術 年 報 2001年

---

平成13年3月30日 印刷

平成13年3月31日 発行

編集者 清 水 博

装幀者 福 井 章

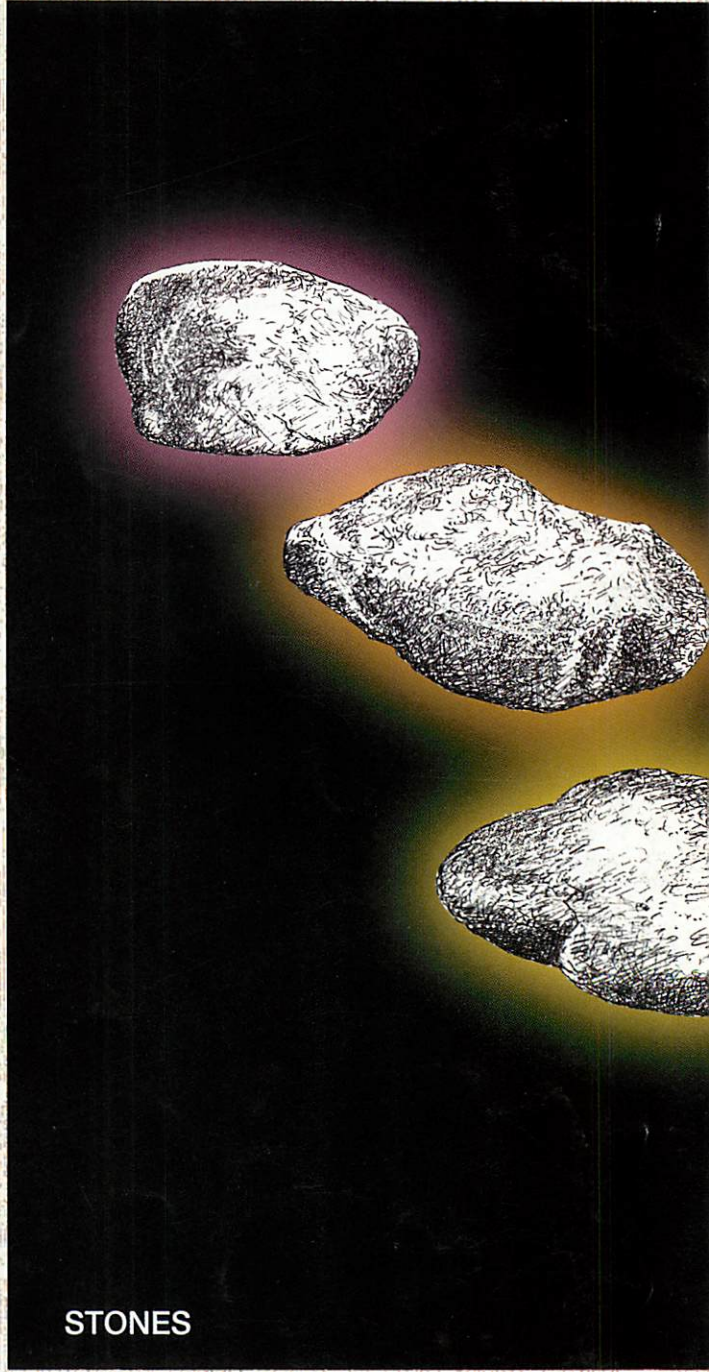
発行人 佐 野 比呂志

印刷所 原田印刷出版株式会社

発行所 徳島県美術家協会

(徳島市名東町1丁目246 清水方)

---



STONES